

# 道路施設基本データ作成システム

## 利用マニュアル

平成24年 3月

国土交通省

**【改定履歴】**

日付	バージョン情報	主な内容
2012/03/31		・初版リリース

**【使用上の注意】**

本システムは、国土交通省が開発したものであり、著作権は国土交通省が保有しています。使用に際しては、下記の使用条件に同意して頂くことが前提となります。

- ① システムに、移植、改良等の改変を加えないこと。
- ② システムの使用によって生じた直接・間接損害などのいかなる損害に対して、国土交通省は一切責任を負うものではないこと。
- ③ システムの内容およびプログラムを使用した結果について、国土交通省が保証するものではないこと。
- ④ 国土交通省は、本システムを予告なしに内容を変更・削除したり、また提供を停止、休止又は中止する場合があること。
- ⑤ 本「使用上の注意」は、予告なしに内容を変更する場合があること。

## 目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
1-1 目的.....	1
1-2 対象となる道路施設.....	2
1-3 語句の説明.....	3
<b>2. 事前準備</b> .....	<b>4</b>
2-1 準備するもの.....	4
2-2 インストール方法.....	5
<b>3. 道路施設基本データ作成までの流れ</b> .....	<b>7</b>
<b>4. 操作説明</b> .....	<b>8</b>
4-1 『道路施設台帳』の作成方法.....	8
4-2 『道路施設基本データ作成システム』の起動と終了.....	13
4-3 工事情報の登録・修正・削除.....	15
4-3-1 工事情報の登録.....	15
4-3-2 工事情報の修正.....	16
4-3-3 工事情報の削除.....	17
4-4 位置図の登録.....	18
4-5 既存道路施設基本データの読み込み.....	20
4-6 作成、変更した道路施設台帳の読み込み.....	23
4-7 道路施設基本データのデータチェック.....	26
4-8 エラー内容の確認と道路施設基本データの修正.....	28
4-9 イメージデータの作成.....	30
4-9-1 イメージデータの作成画面の表示.....	30
4-9-2 イメージデータの作成方法.....	32
4-9-3 イメージ作成結果の表示・削除.....	37
4-10 道路施設基本データのプリンタ出力.....	39
4-10-1 道路施設台帳の出力.....	39
4-10-2 道路施設基本データの印刷.....	41
4-11 電子納品用データ(道路施設基本データ)の出力.....	43
<b>5. システム運用上の留意事項</b> .....	<b>47</b>
5-1 システム利用形態.....	47
5-2 電子納品出力時の留意事項.....	47

添付資料-1 道路施設台帳データの出力帳票様式

添付資料-2 電子納品対応出力データのフォルダ構成

添付資料-3 道路施設台帳サンプル

## 1. はじめに

### 1-1 目的

国土交通省の直轄道路においては、毎年全国各地で新設道路工事や維持修繕工事等が行われています。それらの道路工事において、新設・改良等を行った道路施設の基本データについては、工事成果品として、従来の帳票の形だけでなく電子納品として道路施設基本データも作成することになりました。

道路施設基本データ作成システム（以下、本システムという）は、道路工事において新設、改良、撤去した道路施設に対する道路施設基本データ作成作業の効率化を図るため、道路施設台帳の作成および道路施設台帳形式で作成したデータを自動的に電子納品用データ（道路施設基本データ）の形式で出力する事ができる道路施設基本データの作成支援システムです。

なお、作成する電子納品用データは、「道路工事完成図等作成要領（第2版）」に準拠しています。

## 1-2 対象となる道路施設

本システムは、「表1. 1 対象となる道路施設一覧」に示す道路施設を対象としています。

表1. 1 対象となる道路施設一覧

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付 属 物 及 び 付 帯 施 設	E070	交通遮断機
	C030	平面線形		E080	I, T, V
	C050	舗装		E090	車両感知器
	C060	道路交差点		E100	車両諸元計測施設
	C070	鉄道交差点		E110	気象観測施設
	C080	歩道及び自転車歩行者道		E120	災害予知装置
	C090	独立専用歩道		E130	自動車駐車場等
	C100	中央帯		E140	自転車駐車場
	C110	環境施設帯		E150	雪崩防止施設
構造物	D010	橋梁		E160	落石防止施設
	D020	橋側歩道橋		E170	消雪パイプ
	D030	横断歩道橋		E180	ロードヒーティング
	D040	トンネル		E190	除雪ステーション
	D050	洞門		E200	防災備蓄倉庫
	D060	スノーシェッド		E210	共同溝
	D070	地下横断歩道		E220	C A B 電線共同溝・情報BOX
	D080	道路BOX等		E230	植栽
	D090	横断BOX等		E240	遮音施設
	D100	パイプカルバート		E250	遮光フェンス
	D110	のり面・斜面		E260	距離標
	D120	擁壁		E270	流雪溝
	D130	スノーシェルター		E290	立体地下駐車場
	D140	消波工		E300	Uターン場
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標（反射式）		E330	光ケーブル施設
	E040	視線誘導標（自光式）		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ビーコン・情報コンセント
	E060	道路情報板			

### 【ポイント】

- ・ 道路施設基本データの作成対象となる道路施設は、各地方整備局等で異なります。

### 1-3 語句の説明

- 道路施設基本データ作成システム

「道路工事完成図等作成要領（第2版）」に準拠した道路施設台帳および道路施設基本データを作成する支援ツールです。

- 道路施設基本データ

電子納品用データとして、電子納品記憶媒体に出力するデータ（CSV、JPG 等）です。

- 道路施設台帳

各道路施設の諸元情報等を取りまとめた帳票です。

- 道路施設台帳シート

道路施設台帳形式の EXCEL ファイルであり、本シートを用いて、道路施設台帳の入力を行います。本システムにデータを登録する前に事前に本シートを用いてデータを作成しておく必要があります。

- 電子納品用CD

「工事完成図書の電子納品要領（案）」に従い作成された電子媒体（CD）であり、本システムで作成された道路施設台帳および道路施設基本データは、本電子納品用CDに格納して工事成果品の一部として納品します。

- 整理番号1

既存の道路施設を管理している番号です。新規の場合は、任意の番号（8桁）を入力します。

## 2. 事前準備

### 2-1 準備するもの

本システムを利用するためには、以下に示すものを準備する必要があります。

- ①本システムをインストールするパソコン ※1
- ②道路施設基本データ作成システムのインストーラ
- ③道路施設台帳シート（DIALOG.xls、CODE.xls を含む）

※1：本システムを利用するためには、以下に示すパソコンを準備する必要があります。

#### （1）ハードウェア環境

- CPU : Pentium Core2 プロセッサ 1.8GHz 程度以上
- メモリ : 512MB 以上（Windows 推奨メモリを推奨）
- HD空き容量 : 100MB 以上＋電子納品データ作成に必要となる容量  
（推奨 1GB）

#### （2）ソフトウェア環境

- OS : Windows XP SP3、Windows Vista、  
Windows 7（x86、x64）
  
- 表計算ソフト : EXCEL 2003、EXCEL 2007、EXCEL 2010

## 2-2 インストール方法

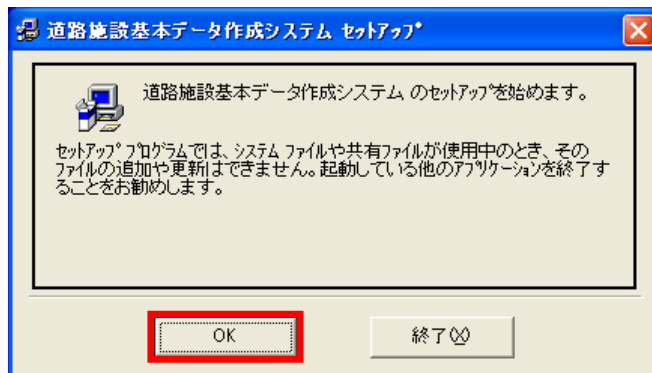
本システムをパソコンにインストールする場合は、Administrator（管理者）権限を持ったユーザでログインして下さい。その後、前項 2-1 で準備したインストーラを使いインストールを行ってください。

なお、ハードディスクのドライブ名は、ご使用のパソコンによって異なります。ここでは、インストール先のハードディスクを「C」ドライブとして説明します。

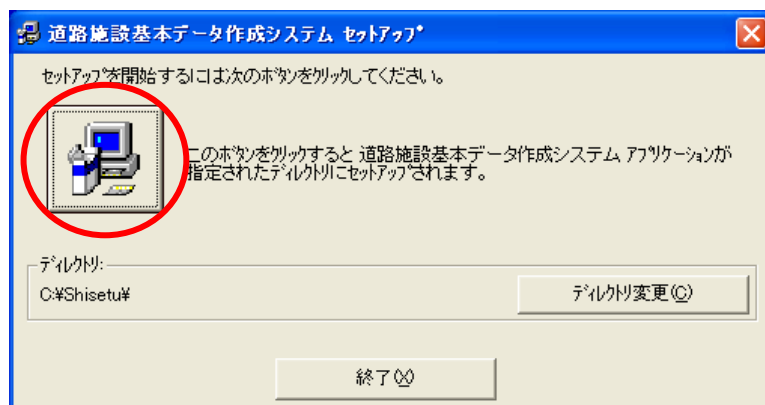
- ① 本システムのインストールプログラムを実行します。インストーラに含まれている「SETUP.EXE」をダブルクリックして下さい。
- ② インストール準備が始まります。（ここでは、特に何もする必要はありません。）



- ③ 以下の画面が表示されたら、「OK」をクリックして下さい。

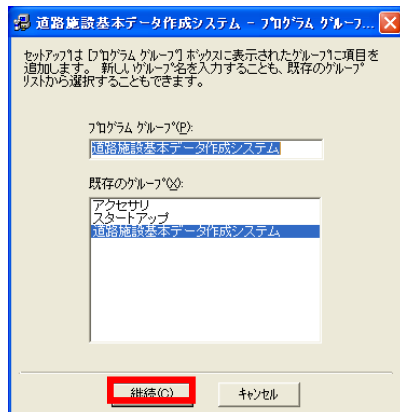


- ④ インストール先を設定し、○部のボタンをクリックして下さい。

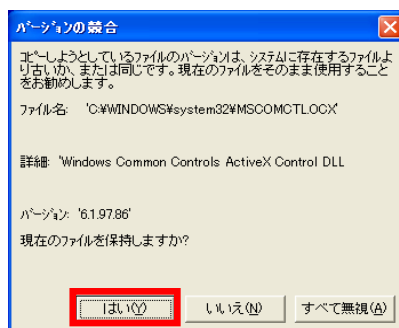




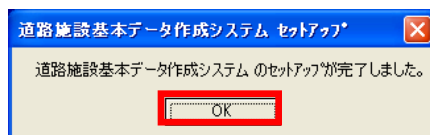
- ⑤ プログラムグループを設定し、「継続」をクリックして下さい。



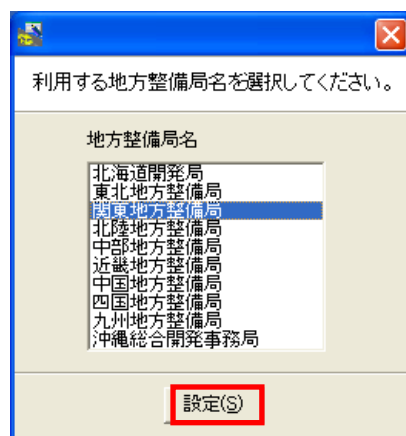
※以下のような画面が表示されることがあります。その際は「はい」をクリックして下さい。



- ⑥ 本システムのインストールが完了したら、「OK」をクリックして下さい。

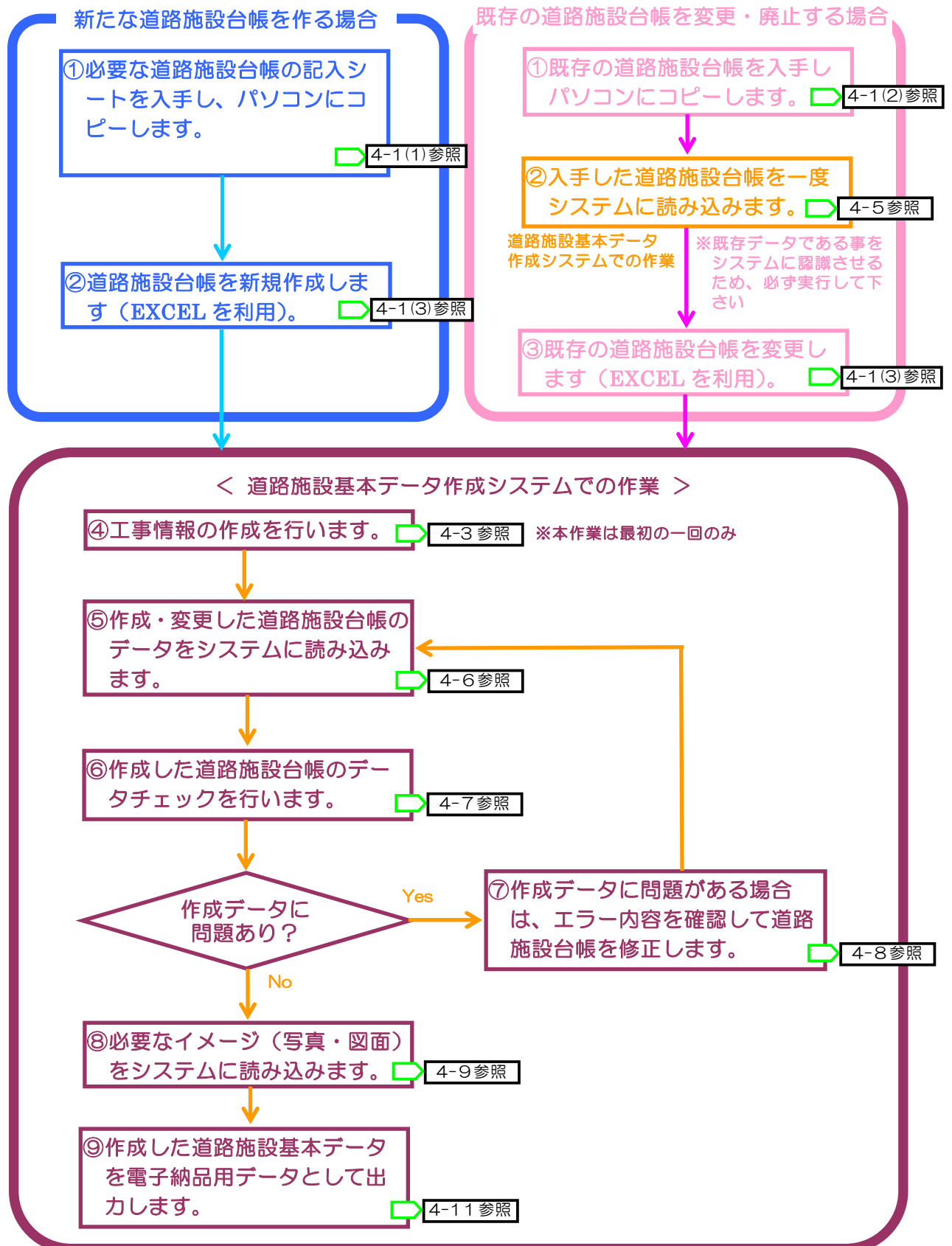


- ⑦ インストールが完了すると以下の画面が表示されますので、利用する地方整備局を選択し、「設定」をクリックして下さい。



### 3. 道路施設基本データ作成までの流れ

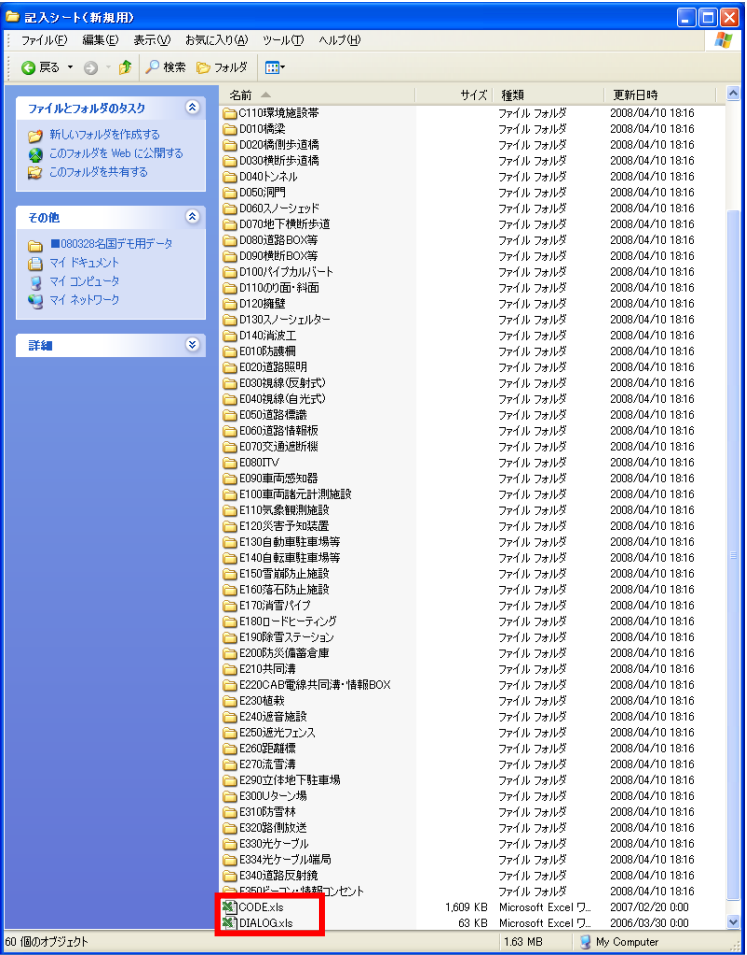
電子納品用データ（道路施設基本データ）作成までの流れについて以下に説明します。作業の内容は、対象施設が新規／既存施設により大きく変わります。



## 4. 操作説明

### 4-1 『道路施設台帳』の作成方法

#### (1) 新規作成用の『道路施設台帳』記入シートの準備



名前	サイズ	種類	更新日時
C110環境施設等		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D010橋梁		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D020橋歩道橋		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D030橋歩道橋		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D040トンネル		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D050門		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D060スロープ		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D070地下横断歩道		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D080道路BOX等		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D090橋歩道橋		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D100バイク用パー		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D110のり面・斜面		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D120護壁		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D130スロープ		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
D140海土工		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E010防凍機		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E020道路照明		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E030線路(放射式)		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E040線路(自光式)		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E050道路標識		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E060道路情報板		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E070交通遮断機		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E080TV		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E090車両感知器		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E100車両検知計測施設		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E110気象観測施設		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E120気象観測施設		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E130気象観測施設		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E140自動車駐留機等		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E150雪崩防止施設		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E160落石防止施設		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E170消雪パイプ		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E180ロードヒーティング		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E190除雪ステーション		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E200丸洗い(保管倉庫)		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E210共同溝		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E220CAG電線共同溝・情報BOX		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E230橋脚		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E240道音施設		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E250遮光フェンス		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E260防眩壁		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E270流雪溝		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E290立体地下駐車場		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E300ジャンプ機		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E310防雪林		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E320路側防風		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E330光ケーブル		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E334光ケーブル局		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E340道路反射鏡		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
E350電子情報コンセント		ファイル フォルダ	2008/04/10 18:16
CODE.xls	1,609 KB	Microsoft Excel 7...	2007/02/20 0:00
DIALOG.xls	63 KB	Microsoft Excel 7...	2006/03/30 0:00

60 個のオブジェクト

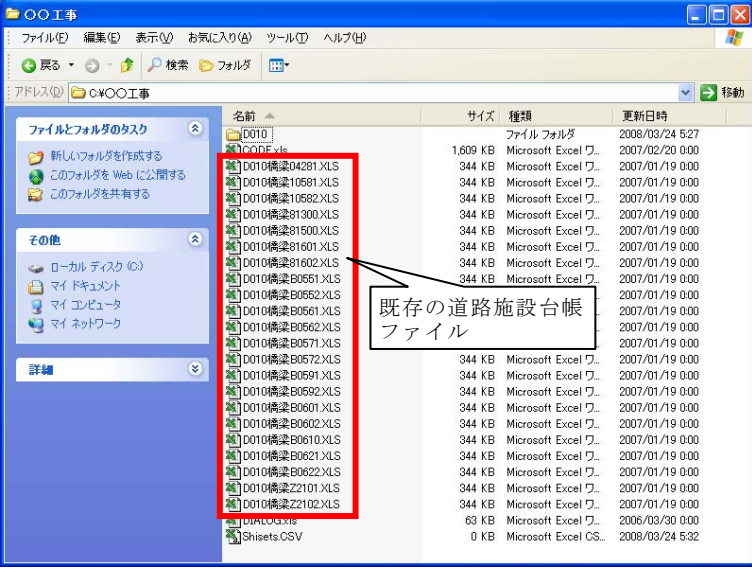
① 事前準備でダウンロードした道路施設台帳シート(圧縮ファイル)を解凍すると、フォルダ内に道路施設毎の記入シートが入っていますので、必要な施設の記入シート(EXCEL ファイル)をハードディスクへコピーして下さい。

② 担当工事に対象施設が複数ある場合は、関係する全ての道路施設の記入シートを同じフォルダにコピーして下さい。

③ 関係する全ての記入シートのコピーが終わりましたら、同様に『記入シート(新規用)』フォルダ内の「DIALOG.xls」、「CODE.xls」ファイルを記入シートと同じフォルダにコピーして下さい。

④ 道路施設台帳を作成する必要がある施設毎に記入シートを準備します。この際、ファイル名は次のように変更して下さい。  
⇒台帳様式ファイル名+施設対応番号.xls  
例) D010 橋梁 A001001.xls

## (2) 変更用の『道路施設台帳』記入シートの準備



① 発注者から入手した既存の道路施設台帳を全て（フォルダごと）ハードディスクへコピーして下さい。

② 既存の道路施設台帳をコピーしたフォルダには下記ファイルが入っていますので不足ファイルが無いか確認して下さい。

- ◆ 「Shisetu.csv」
- ◆ 「DIALOG.xls」
- ◆ 「CODE.xls」
- ◆ 道路施設台帳ファイル  
(工種名+整理番号1.xls)

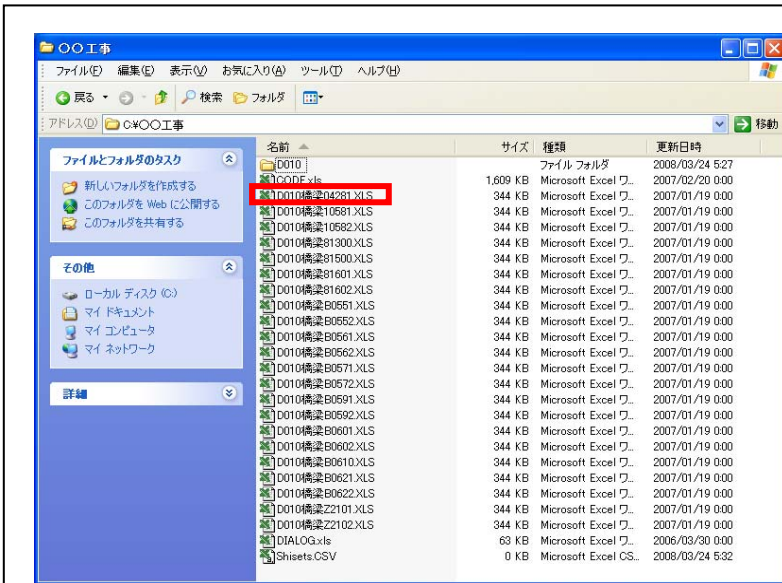
上記ファイルが存在しない場合は、発注者へ確認し再度、既存データを手入手して下さい。

※コピーした道路施設台帳ファイルが変更できない場合は、ファイルのプロパティを確認し属性の「読み取り専用」を解除して下さい。

※ 既存の道路施設台帳が入手できない場合（発注者から提供されない場合）は、「新たな道路施設台帳をつくる場合」（p.7）の手順に従ってください。

### (3) 『道路施設台帳』 記入シートの作成・更新

#### 1) 『道路施設台帳』 記入シートの起動方法

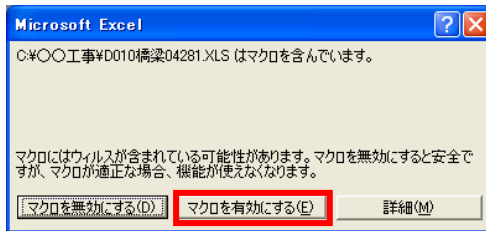


① 前項(1),(2)で準備した道路施設台帳記入シートファイルをダブルクリックしファイルを表示して下さい。

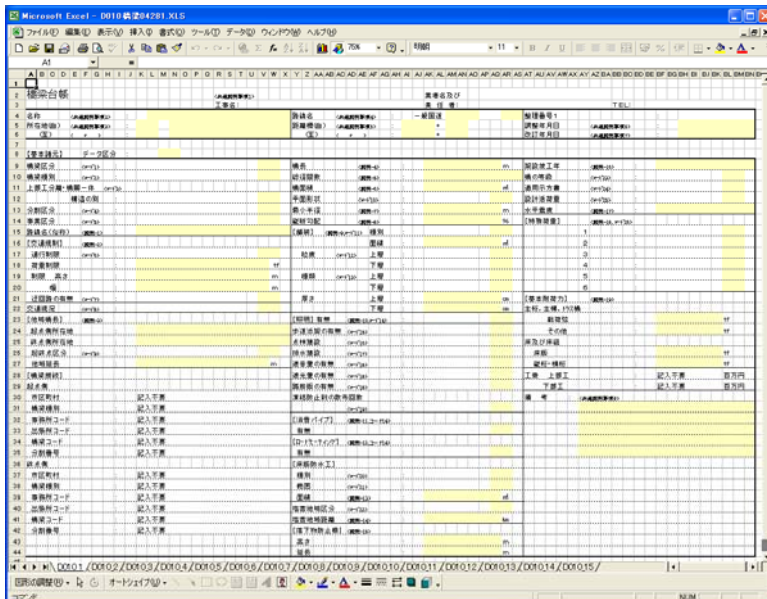
<注意>  
ファイルがデザインモードで開いてしまい、マクロが有効にならない場合があります。デザインモードの場合は、次のアイコンが表示されます。



その場合は、メニューの「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」でセキュリティ画面が開きます。そのセキュリティレベルを「中」以下に変更して下さい。



② マクロを含んでいますので、「マクロを有効にする」をクリックして下さい。



③ 入力用シートが表示されます。網掛けのある部分が入力箇所となっていますので、データの入力を行って下さい。

④ データの作成・変更を行う前にデータ区分の入力を行って下さい。

#### ◆新しい施設を設置する場合

[データ区分]⇒1 (新規)

#### ◆当該施設を改良する場合

[データ区分]⇒2 (変更)

#### ◆当該施設を撤去する場合

[データ区分]⇒3 (廃止)

## 2) 『道路施設台帳』 記入シートの編集方法

道路施設台帳の入力方法は、コードから選択する方法と文字・数値を直接入力する方法があります。

### ア) コードから選択する場合

① コード入力セル（黄色）をクリックし選択状態として下さい。  
マウスの右ボタンをクリックしメニュー画面を表示し「コード参照」メニューを選択して下さい。

② コード参照画面が表示されますので、コードを選択し「確定」ボタンをクリックして下さい。

③ 選択したコードおよびコード内容が記入シートへ反映されます。

※選択項目の一覧表を表示せず、直接コードを入力する事も可能です。この場合、コード範囲外の値を入力すると選択内容が表示されません。

【基本諸元】	データ区分	:		
橋梁区分	<選択>	:		1
橋梁種別	<選択>	:		
上部工分離・橋脚一体	<選択>	:		

コードを直接入力すると…



【基本諸元】	データ区分	:		
橋梁区分	<選択>	:	本線橋	1
橋梁種別	<選択>	:		
上部工分離・橋脚一体	<選択>	:		

対応する選択内容が表示されます。

#### 1) 直接、文字・数値データを入力する場合

橋梁台帳		〈共通説明事項1〉 工事名	
名称	<共通説明事項2〉	○○橋梁	
所在地(自)	<共通説明事項3〉	文字の入力	
(至)	<共通説明事項4〉		
【基本諸元】	データ区分	:	
橋梁区分	<選択>	:	本線橋 1
橋梁種別	<選択>	:	高架橋 2
[交通規制]	<説明-2〉		
通行制限	<選択>		
荷重制限		20	tf
制限…高さ		5.5	m
幅			m
迂回路の有無	<選択>		

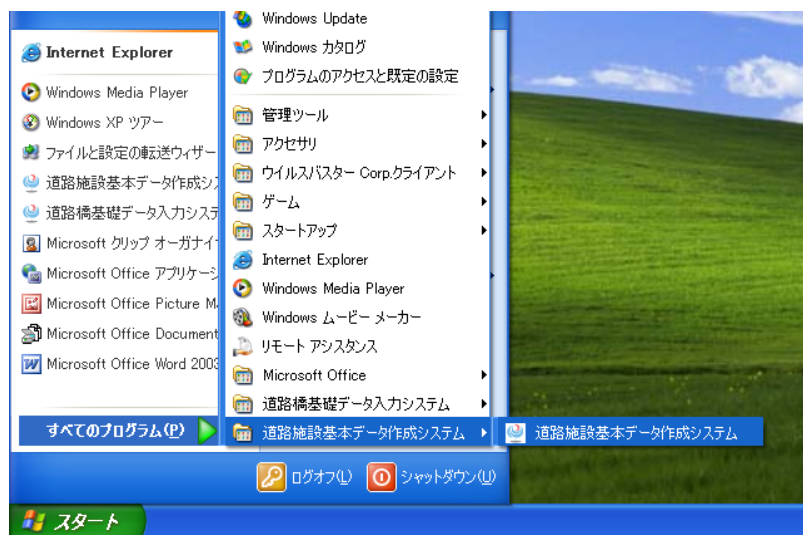
①入力欄（黄色）を選択して、直接数値・文字データを入力します。

なお、数値については、半角数字で入力を行って下さい。

## 4-2 『道路施設基本データ作成システム』の起動と終了

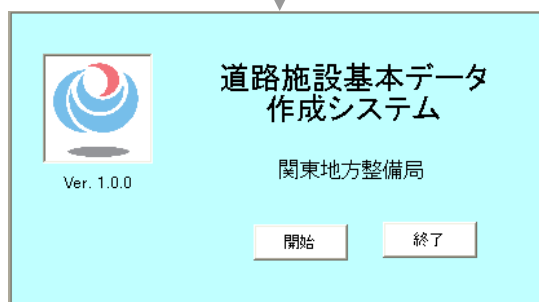
本節では、本システムを起動及び終了する際の操作方法について説明します。

### (1) システムの起動

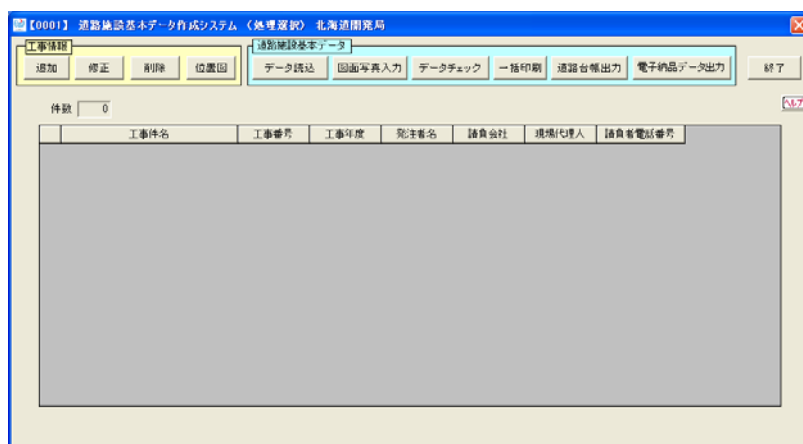


- ① スタートメニューから、「プログラム」→「道路施設基本データ作成システム」→「道路施設基本データ作成システム」の順に選択して下さい。

※上記の順について、インストール処理の際に、プログラムグループの変更を行った場合は異なってきます。



- ② 起動画面が表示されますので、「開始」ボタンを選択して下さい。



- ③ 左記初期画面が表示されます。

以後の節で説明する各種操作は、全て本画面から開始します。

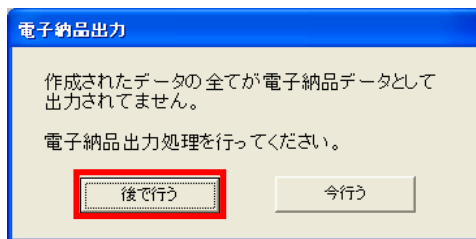
※既登録の工事情報がある場合、工事一覧表に表示されます。



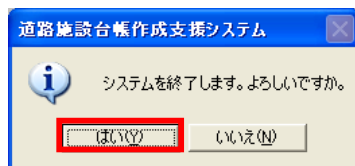
## (2) システムの終了



① 初期画面に戻り、「終了」ボタンをクリックして下さい。



② データを入力・修正して電子納品出力をしていない施設がある時に終了確認画面が表示されます。システムを終了して電子納品出力処理を後で行う場合は「後で行う」ボタンを選択して下さい。



③ 「はい」ボタンを選択して下さい。

### 4-3 工事情報の登録・修正・削除

本節では、工事情報を登録・修正・削除する際の操作方法について説明します。

#### 4-3-1 工事情報の登録



① 「工事情報追加」ボタンをクリックして下さい。

A screenshot of the '【1001】道路建設基本データ作成システム (工事情報追加・修正)' form. The form contains the following fields:

- 工事情報: 工事件名 (平成24年度国道〇号〇〇工事), 工事番号 (201211110125), 工事年度 (2012 年度(西暦)), 工期(西暦) (年 月 日 ~ 年 月 日), 発注者 (道路管理課), 発注担当課長 (〇〇 〇〇).
- 請負者: 会社名 (〇〇建設(株)), 現場代理人 (〇〇 〇〇), 主任技術者 (△△ △△), 電話番号 (999-999-9999), FAX番号 (999-999-9999), E-Mail (XXXX@XX.CO.JP).
- 供用未供用の別: 供用/未供用 (供用), 供用予定(西暦) (2012 年 〇 月).
- 監督職員: 監督部署 (〇〇部), 主任監督員 (〇〇 〇〇), 監督員 (〇〇 〇〇).

At the bottom, the '登録' (Register) button is highlighted with a red box, and the '戻る' (Back) button is also visible.

② 工事に関する諸元情報を入力して下さい。

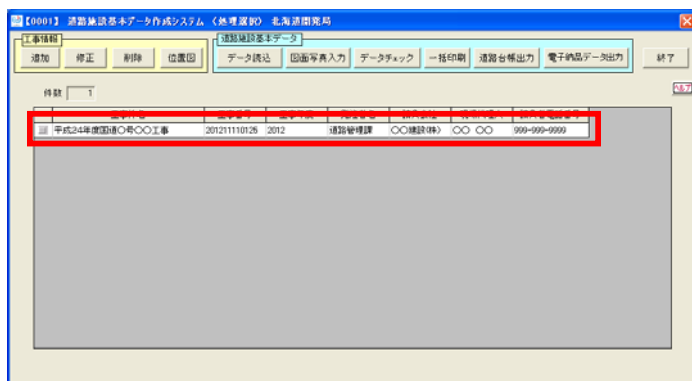
- ・工事番号、工事年度、供用/未供用の別(供用の場合は、供用年、月も入力)は必ず入力して下さい。

③ 工事情報入力後、「登録」ボタンをクリックして下さい。

- ・工事情報の入力を取り消す場合は、「戻る」ボタンをクリックして下さい。

※工事番号に入力するデータは工事担当課に確認して下さい。

※工事年度は、西暦(4桁)で入力して下さい。(平成24年度の場合、「2012」)



④ 登録された工事情報が、一覧表に表示されます。

### 4-3-2 工事情報の修正



① 工事情報一覧表より、修正する工事を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。  
※1件のみ選択します。

② 選択後、「工事情報修正」ボタンをクリックして下さい。



工事情報

工事件名: 平成24年度国道〇号〇〇工事  
 工事番号: 20121110125  
 工事年度: 2012 年度(西暦)  
 工期(西暦): 年 月 日 ~ 年 月 日  
 発注者: 道路管理課  
 発注担当課長: 〇〇 〇〇

諸員者

会社名: 〇〇建設株式会社  
 現場代理人: 〇〇 〇〇  
 主任技術者: △△ △△  
 電話番号: 999-999-9999 FAX番号: 999-999-9999  
 E-Mail: XXXXX@XXX.CO.JP

供用未供用の別

供用/未供用: 供用  
 供用予定(西暦): 2012 年 8 月

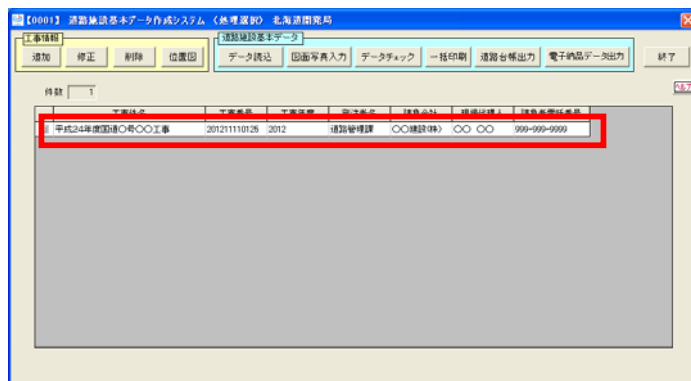
監督職員

監督部署: 〇〇部  
 主任監督員: 〇〇 〇〇  
 監督員: 〇〇 〇〇

登録 戻る

③ 指定された工事に対する工事情報が表示されます。必要に応じて、修正して下さい。

④ 工事情報を修正後、「登録」ボタンをクリックします。  
・工事情報の修正を取り消す場合は、「戻る」ボタンをクリックして下さい。



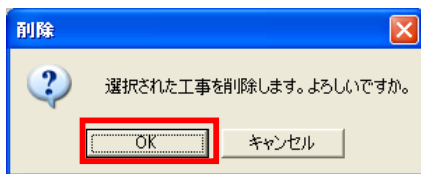
⑤ 修正された工事情報が、一覧表に表示されます。

### 4-3-3 工事情報の削除



① 工事情報一覧表より、削除する工事を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。

② 選択後、「工事情報削除」ボタンをクリックして下さい。



③ 削除確認画面が表示されますので「OK」をクリックします。  
・選択した工事の削除を取り消す場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。

※一度削除したデータは元に戻りませんので注意して下さい。




④ 工事情報および、関連する道路施設基本データが削除されます。

#### 4-4 位置図の登録

本節では、前項で作成した工事に関する位置図ファイルを登録する際の操作方法について説明します。

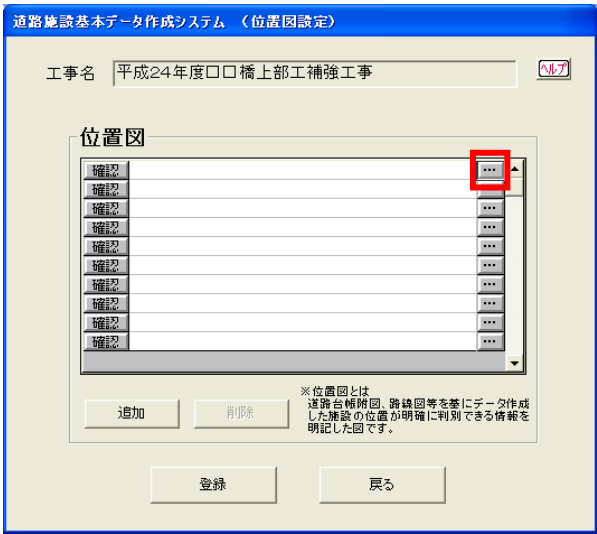
(※) ここで言う「位置図」とは、道路台帳附図、路線図等を基にデータ作成した施設の位置が明確に判別できる情報を明記した図です。

(※) 位置図の作成は、本システムとは別途実施してください。



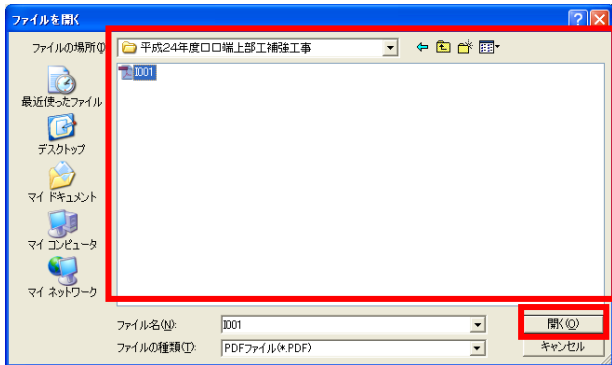
- ① 工事情報一覧表から、位置図を登録したい工事を選択(クリックし、左側チェックマークを表示)して下さい。  
・1件のみ選択します。
- ② 工事選択後、「位置図」をクリックして下さい。

↓

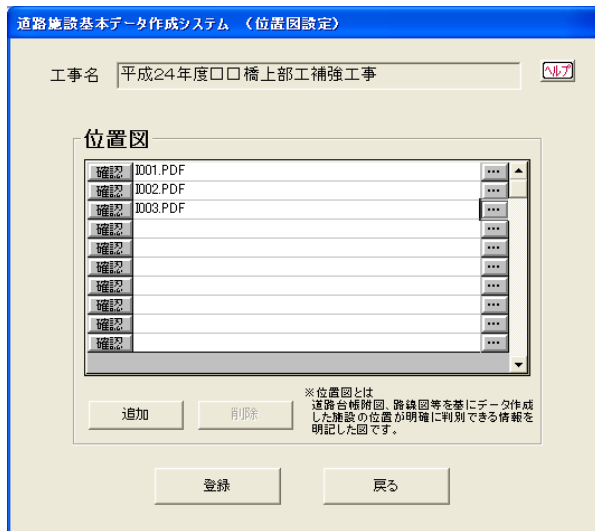


- ③ 一覧表右の「…」ボタンをクリックして下さい。

↓



⑤ 作成済みの位置図ファイル（PDF ファイル）を選択し、「開く」ボタンをクリックします。



⑥ 「登録」ボタンをクリックして下さい。一覧表に表示されている位置図ファイルを登録します。

※ 位置図の内容を確認したい場合は、「確認」ボタンをクリックして下さい。

※ 一覧表が位置図で満杯になった場合、「追加」ボタンをクリックすることにより、新たに位置図を追加することができます。

※ 位置図を削除したい場合は、削除したい位置図をクリックして「削除」ボタンをクリックして下さい。

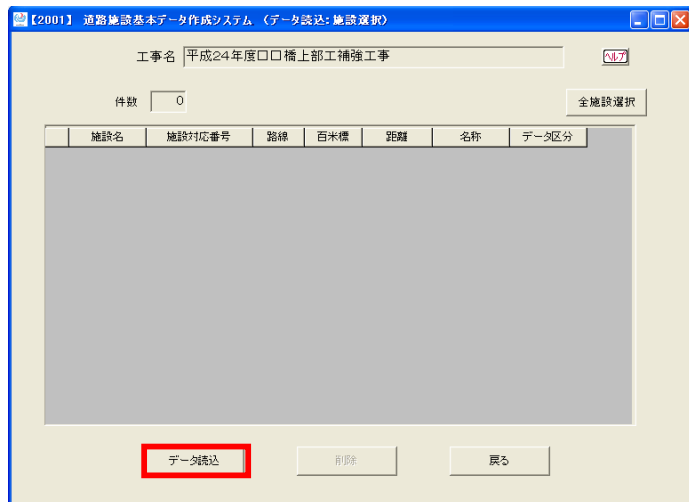
#### 4-5 既存道路施設基本データの読み込み

本節では、発注者から入手した既存の道路施設基本データ（道路施設台帳）を読み込む方法について説明します。



① 工事情報一覧表より、既存の道路施設基本データを読み込む工事を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。  
※1件のみ選択します。

② 選択後、「データ読み込」ボタンをクリックして下さい。

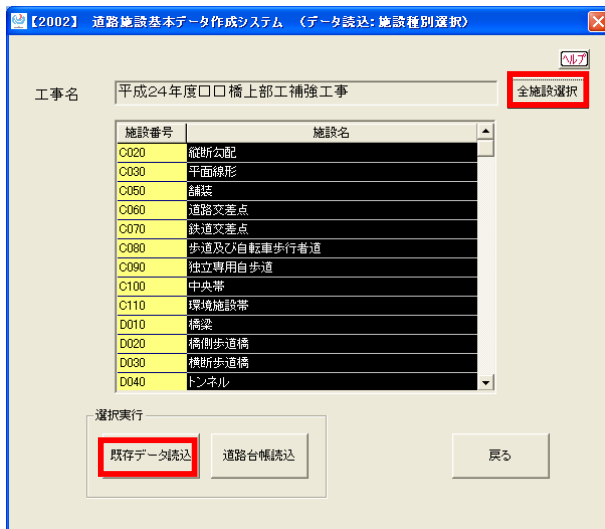


③ 既に読み込み済みの施設情報が一覧で表示されます。

新たに既存の道路施設基本データを読み込む場合は、「データ読み込」ボタンをクリックします。

※読み込み済みの施設情報を削除する場合は、施設一覧表より、削除する施設を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

※データの読み込み又は削除を取り消す場合は、「戻る」ボタンをクリックして下さい。



＜一括データの読込＞

- ④ 一括でデータを読み込む場合は「全施設選択」ボタンをクリックし、全ての施設を選択して下さい。

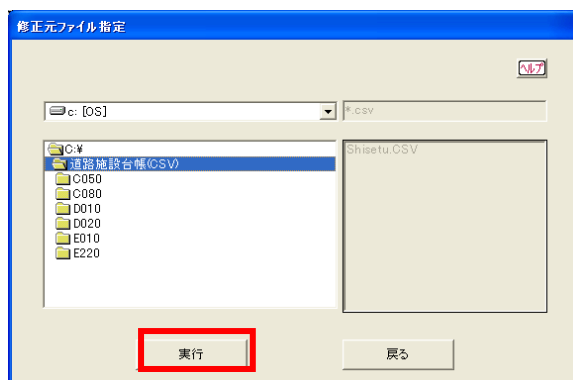


＜工種指定データの読込＞

- ⑤ 工種を指定しデータを確認しながら読み込む場合には該当する工種の施設をクリックし、選択して下さい。

- ⑥ 選択後、「既存データ読込」ボタンをクリックして下さい。

※既存データの読込を取り消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。



- ⑦ 発注者から入手した既存の道路施設台帳ファイル（CSV）が保存されているフォルダを選択して、「実行」ボタンをクリックして下さい（選択したフォルダに道路施設基本データが存在する場合は、画面右にその CSV ファイル名が表示されます。）

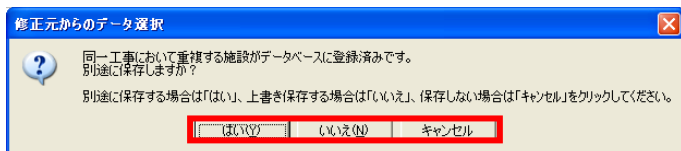




⑧ 工種指定でデータの読みを行った場合は、既存データの前後移動ボタンをクリックして、該当する施設のデータを表示させます。  
※一括データ読みを行った場合は、本画面は表示されません。

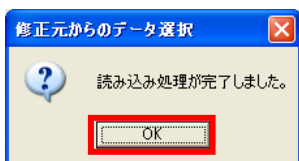
⑨ 読み込む施設を表示している状態で「既存データ(修正用)取込み」ボタンをクリックして下さい。当該施設の情報がシステムに取込まれます。

※詳細情報がある場合、画面右に詳細情報ボタンが表示されます。必要に応じて、ボタンをクリックして詳細情報を確認して下さい。



⑩ 取込もうとしている施設情報が既に取込まれている場合は、左の画面が表示されます。  
下記内容を参照して取込み方法を選択して下さい。

選択	取込み方法
はい	既存のデータとは別の施設として取込みます。この場合、新規施設の扱いとなります。
いいえ(通常)	既に取込まれている施設情報に上書きします。
キャンセル	取込み作業を終了します。



⑪ データの取込みが完了すると上記画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックして下さい。

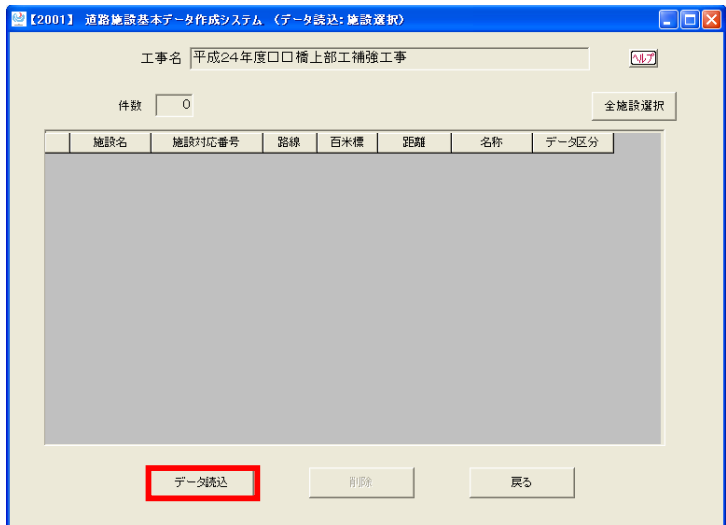
#### 4-6 作成、変更した道路施設台帳の読み込み

本節では、新規作成・変更した道路施設台帳の読み込み方法について説明します



① 工事情報一覧表より、作成、変更した道路施設台帳を作成する工事を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。  
・1件のみ選択します。

② 選択後、「データ読み込み」をクリックします。

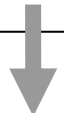


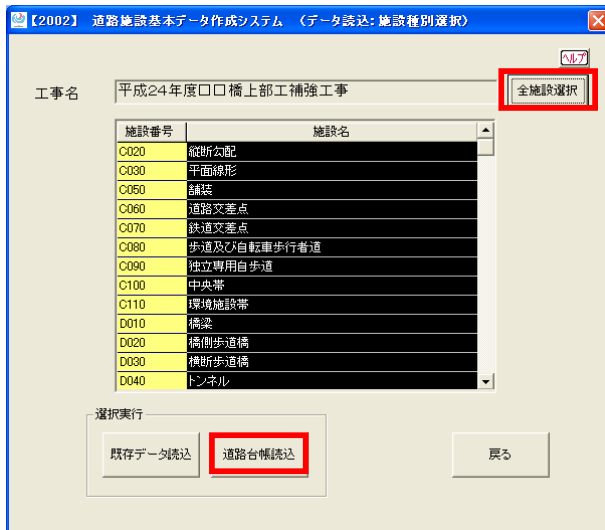
③ 既存データの読み込み状況が一覧で表示されます。

新たに道路施設台帳を読み込む場合は、「データ読み込み」をクリックして下さい。

※既存データを削除する場合は、施設一覧表より、削除する施設を選択し、「削除」をクリックして下さい。

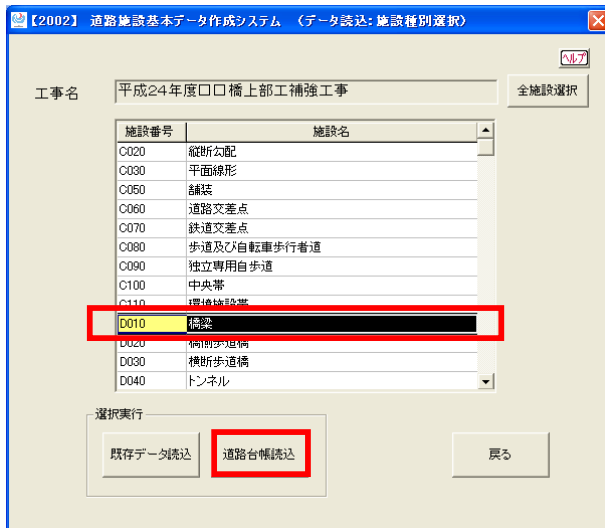
※データの新規追加又は既存データの削除を取り消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。





<一括データの読込>

④ 一括でデータを読み込む場合には「全施設選択」ボタンをクリックし、全ての施設を選択して下さい。

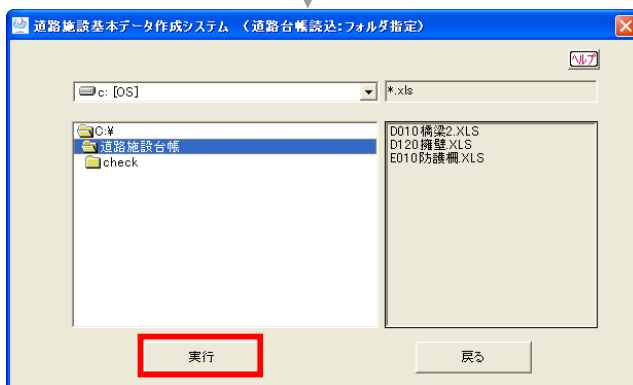


<工種指定データの読込>

⑤ 工種を指定しデータを確認しながら読み込む場合には該当する工種の施設をクリックし、選択して下さい。

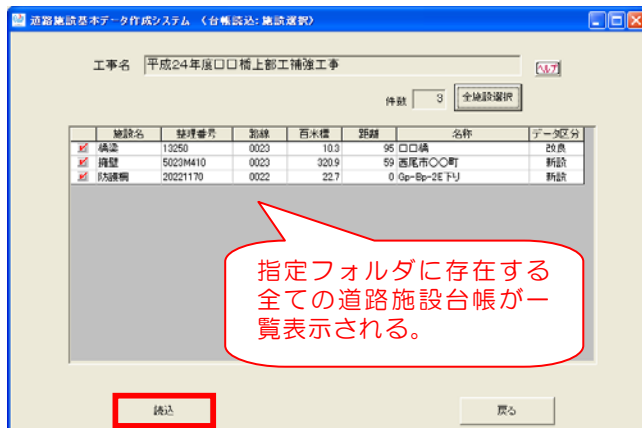
⑥ 選択後、「道路台帳読込」ボタンをクリックして下さい。

※道路施設台帳の読み取りを取消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。

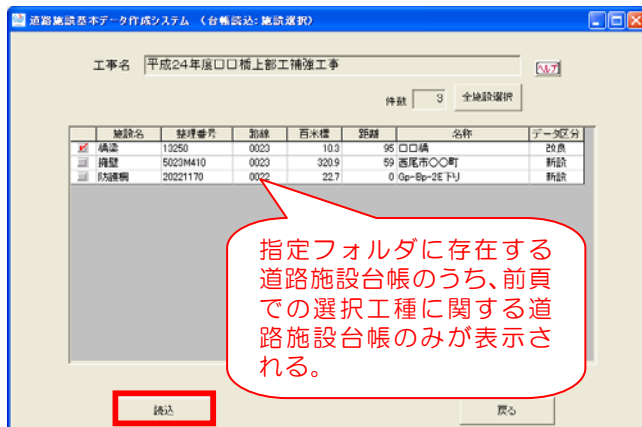


⑦ 作成した道路施設台帳ファイル (XLS) が存在するフォルダを指定し「実行」をクリックして下さい。

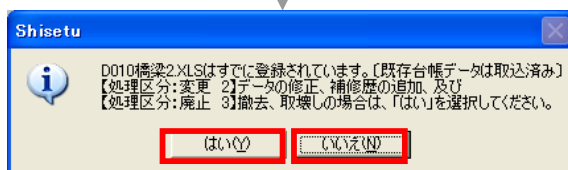
・道路施設台帳読み取りを取消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。



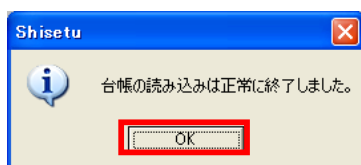
<一括データの読込>



<工種指定データの読込>



選択	取込み方法
はい	既に取込まれている施設情報に上書きします。
いいえ	取込み作業を終了します。



⑧ 指定されたフォルダに入っている道路施設台帳の一覧表が表示されます。

⑨ 対象のデータを選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して「読み込」ボタンをクリックします。  
 なお、全ての施設を選択する場合には「全施設選択」をクリックして下さい。

・道路施設台帳読み込データ指定を取り消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。

⑩ 取込もうとしている施設情報が既に取込まれている場合は、左の画面が表示されます。

下記内容を参照して取込み方法を選択して下さい。

⑪ データの取込みが完了すると左記画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックして下さい。

#### 4-7 道路施設基本データのデータチェック

本節では、前項で作成した道路施設基本データに対して、入力項目ごとにチェックを行います。また、所定の場所に道路施設基本データとエラーの内容を出力します。

① 工事情報一覧表より、道路施設基本データのデータチェックを行う工事を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。  
・1件のみ選択します。

② 選択後、「データチェック」ボタンをクリックして下さい。

③ データチェックしたい工種を一覧表より選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。

④ 「…」ボタンをクリックしてチェック結果出力先フォルダを指定して下さい。  
※ 出力先フォルダは事前に作成しておく必要があります。（フォルダ名は任意です。）

⑤ 「実行」をクリックして下さい。  
・処理を取り消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。

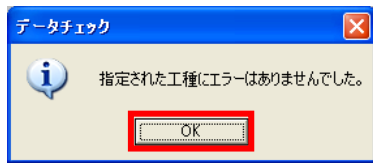
⑥ 既にチェックしたものはチェック日付に情報が表示されます。

⑦ 「はい」の場合はログが新規になり、「いいえ」の場合は前回のログに追加されます。  
・処理を取り消す場合は、「キャンセル」をクリックして下さい。

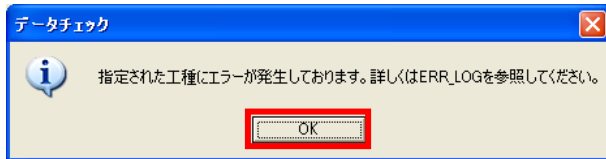
⑧ 実行状況が表示されます。なお、データ量に応じ、時間は変動します。



<正常終了時>



<エラー発生時>



⑨ データチェックの結果により、異なる画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックして下さい。

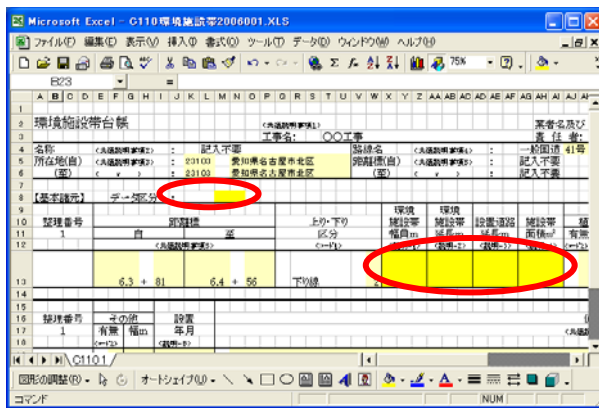
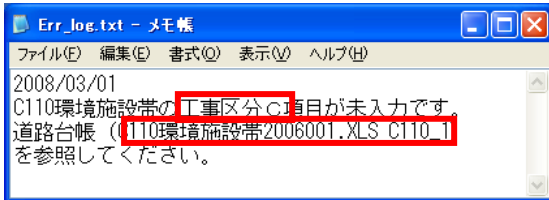
※データエラーが生じている場合は、下記エラー内容を参照してデータの修正を行って下さい。



エラー内容の確認方法については、「4-8」参照して下さい。

#### 4-8 エラー内容の確認と道路施設基本データの修正

前項の道路施設基本データのデータチェックによりエラーが発生した場合のエラー内容の確認方法と修正方法について以下に説明します。



- ① 異常終了時にはログファイルが出力されますので、エラー内容を確認して下さい。  
左記例の場合、道路施設台帳「C110 環境施設帯 20060001.XLS」ファイルの「C110\_1」シートの「工事区分C」項目にエラーが発生しています。

- ② 前項 4-7④で指定したフォルダにチェック結果を出力した道路施設台帳ファイルが保存されていますので、その道路施設台帳ファイルを開いてエラー箇所の確認・修正を行って下さい。

※ エラー結果の出力方法の詳細については下記の補足事項を参照して下さい。

- ③ エラー箇所の修正後、修正した道路施設台帳ファイルの保存、道路施設台帳の再読み込みを行い（前項 4-6参照）、データチェックを行って下さい。

エラーが出力されなくなるまで修正作業を行う必要があります。

#### ◆ 補足事項 ◆

##### (1) データチェック内容

本システムで行っているデータチェック内容は、以下のとおりです。


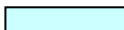


- オフコードチェック：入力されたコードに対応する選択肢が存在しているか確認します（コードを直接入力した場合にエラーが生じる可能性があります）。
- タイプチェック：数値項目について、数値以外のデータ（?、\*、#を除く）が存在していないか。また、日本語項目について、半角の文字が存在していないか確認します。
- 桁数チェック：入力桁数が所定の桁数を超過していないか確認します。
- 未入力チェック：未入力データがないか確認します。

(2) 道路施設台帳の出力

データチェックした施設は全て道路施設台帳形式でファイルが作成され、既存データ読み・修正にて読み込まれたデータに対しては、変更された項目が薄グレーで網掛けされます。※道路施設台帳のサンプルは添付資料-3を参照して下さい。

(3) 道路施設基本データのエラー情報の出力

データチェックした際にエラーがあった場合、道路施設台帳形式でファイルが作成され、エラーがあった項目に網掛けをします。下記のように種類別に色分けをしています。

- ・ オフコードチェック :  (黄緑)
- ・ タイプチェック :  (水色)
- ・ 桁数チェック :  (ピンク)
- ・ 未入力チェック :  (黄色)

(4) エラーログファイルの見方

データチェックにおいて、エラーがあった場合はエラーログファイルに出力されます。このログファイルの様式等については、以下のとおりです。

- ファイル形式 : CSV形式ファイル (項目間は「,」(カンマ)区切りで表示。)
- ファイル名 : Error.csv (チェック結果出力先に作成される。)
- 出力様式は以下のとおりです。


1999/10/10	← (チェック日付)		
C080 歩道及び自歩道	,84605000011K0019997000000000	,オフコードエラー	,設置区分C
C080 歩道及び自歩道	,84605000011K0019997000000000	,タイプエラー	,設置延長
C080 歩道及び自歩道	,84605000011K0019997000000000	,桁数エラー	,有効幅員
C080 歩道及び自歩道	,84605000011K0019997000000000	,キー重複エラー	
↑	↑	↑	↑
(テーブル名)	(レコードキー)	(エラー内容)	(DB項目名)



#### 4-9 イメージデータの作成


道路施設基本データのイメージデータ（図面・写真）作成を行います。

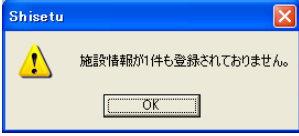
##### 4-9-1 イメージデータの作成画面の表示




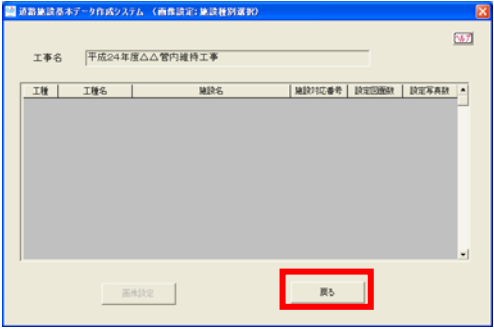
① イメージデータを登録する工事を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）後、「図面写真入力」ボタンをクリックして下さい。

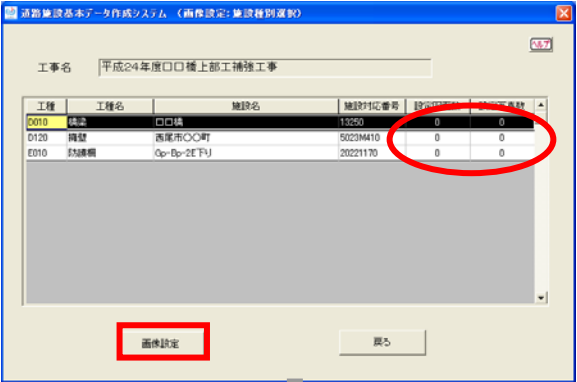
※工事情報に施設情報（4-5 既存道路施設基本データの読込、4-6 作成、変更した道路施設台帳の読込）がないとイメージデータの作成はできません。「戻る」ボタンをクリックして、道路施設基本データを読込んで下さい。










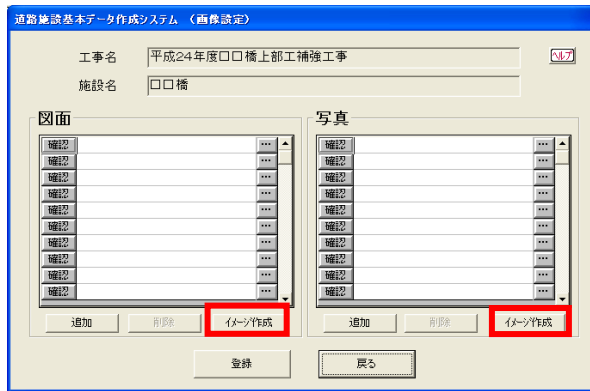


② 各施設のイメージ登録状況が一覧表示されますので、図面・写真を登録したい施設を選択後、「画像設定」ボタンをクリックして下さい。

処理を取り消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。

※施設を選択するまで、「画像選択」はクリックできません。



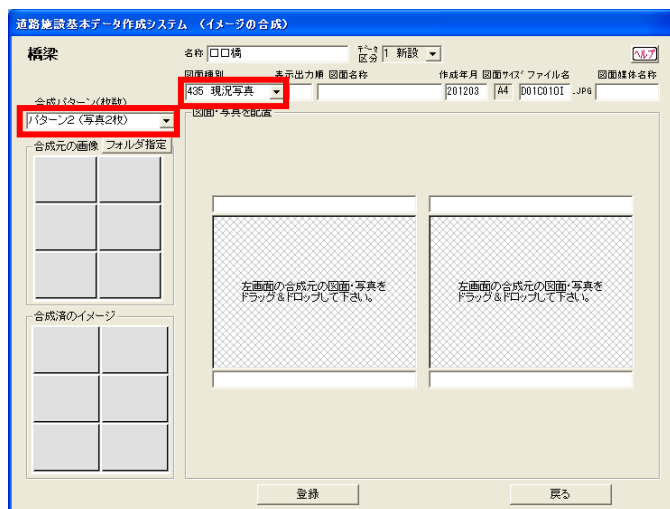


- ③ 図面または写真の「イメージ作成」ボタンをクリックして下さい。  
 ※既存施設でイメージデータが登録済みの場合は、最初から既存のイメージデータが表示されています。



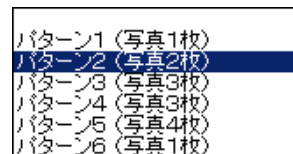
- ④ イメージ作成画面が表示されます。

#### 4-9-2 イメージデータの作成方法



① 作成するイメージデータの「図面種別」を選択して下さい。

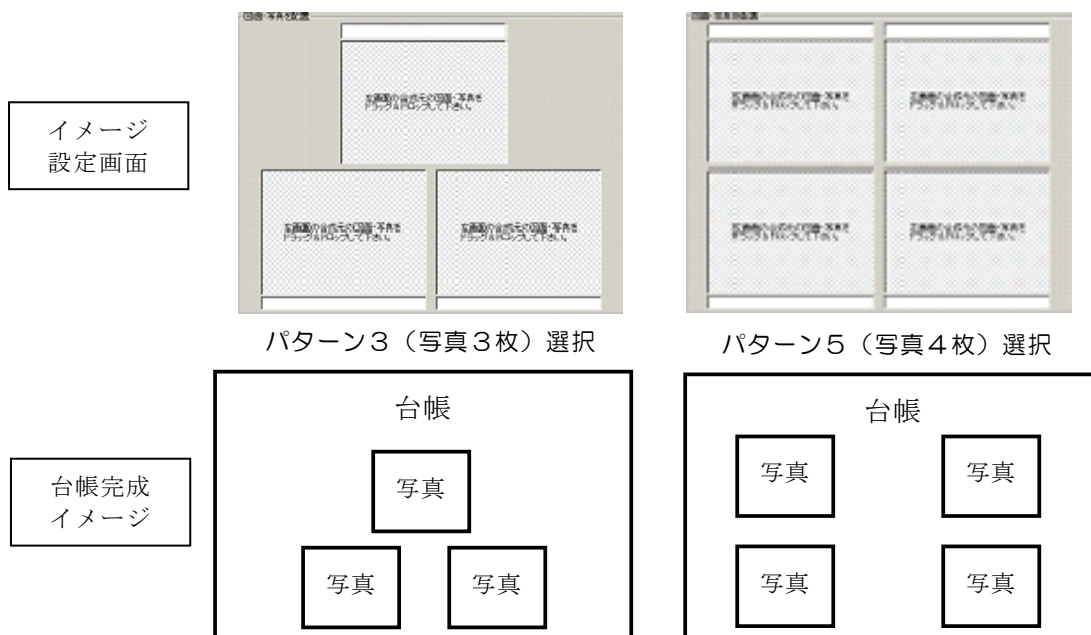
② 一枚の台帳へ出力するイメージデータのレイアウト「合成パターン」を選択します（レイアウトは①で選択した種別により異なります。詳しくは次頁参照）。






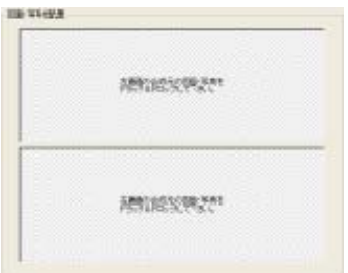



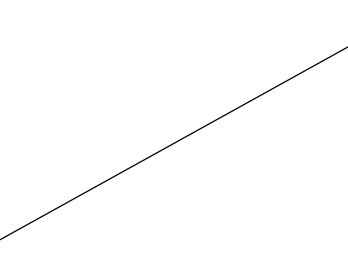

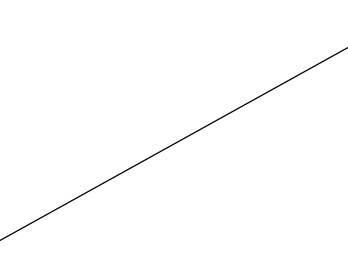

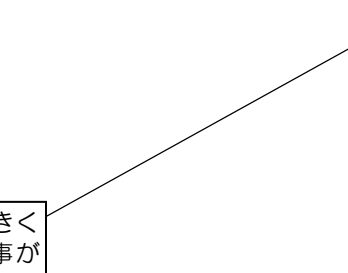
③ その他、当該イメージの基本情報について入力します。具体的には次のとおりです。

入力項目	備考
データ区分	「新設」固定。
表示出力順	台帳出力時の表示順。同一図面種別内での連番。
図面名称	全角 10 文字以内。図面種別と同じでもよい。
作成年月	半角数字 6 桁（西暦 4 桁+月 2 桁）。画像の作成年月。
図面サイズ	「A4」固定。
ファイル名	自動的に作成される。変更も可能。※入力必須項目
図面媒体名称	任意

「合成パターン」で指定した写真の枚数分が台帳 1 枚に表示されます。



●『図面種別』と『合成パターン』による出カレイアウト

パターン	現況写真	図面（平面図、一般図等）
1		
2		
3		
4		
5		
6		

パターン1より大きく  
画像を貼り付ける事が  
できます。

●イメージの貼付方法

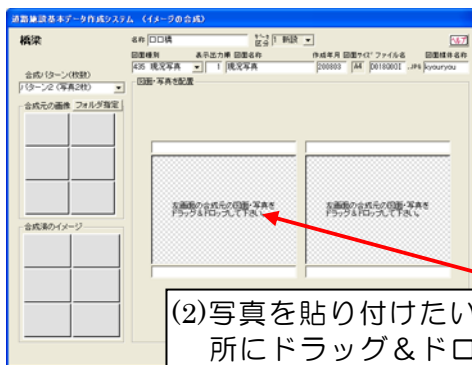


- ④ 図面、写真を画面上に配置します。  
 ・合成パターンにより、セットする画像数は変わりますので、画像数分セットして下さい。

なお、図面、写真の配置方法は以下に示す2つの方法があります。

<方法1>

登録する写真が保存されているフォルダを表示し、直接ドラッグ&ドロップで画像をセットします。画像を変更する場合は、別の画像を上から被せて下さい。



- (1) 登録する画像があるフォルダを開きます。



- (2) 写真を貼り付けたい場所にドラッグ&ドロップします。



- (3) 所定の画像が貼り付けられます。

【ドラッグ&ドロップとは…】

以下に示す手順の事をいいます。

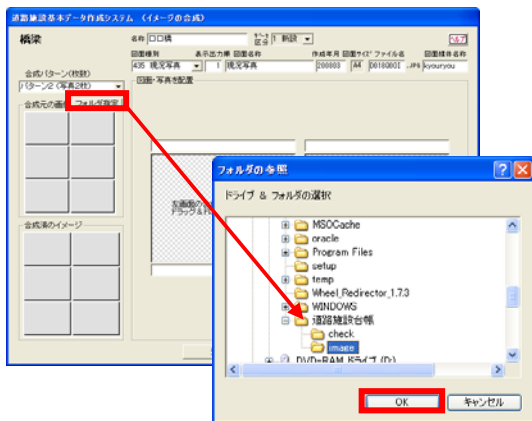
手順1：対象となる画像上にマウスを移動し、左ボタンを押した状態で（つかむ）マウスを貼り付けたい場所に移動します。

手順2：貼り付けたい場所の上でマウスの左ボタンを離します（落とす）。

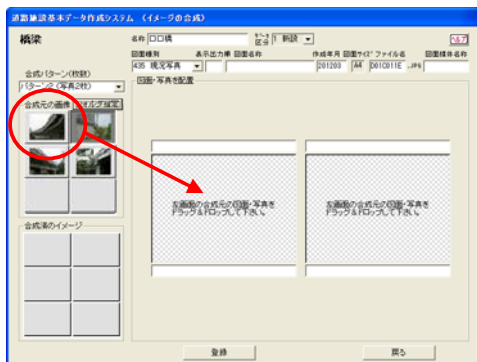
手順3：対象となる画像が、貼り付けたい場所に表示されます。

### <方法2>

画像が保存されているフォルダを選択し、システム上でフォルダ内の画像を表示させた状態から、ドラッグ&ドロップで画像をセットします。画像を変更する場合は、別の画像を上から被せて下さい。



(1)「合成元の画像」の「フォルダ指定」ボタンをクリックし、画像が保存されているフォルダを選択後、「OK」ボタンをクリックして下さい。



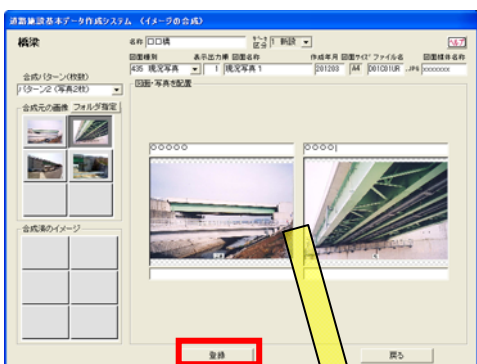
(2)指定したフォルダに格納されている画像が画面の左側に表示されますので、この画像をドラッグ&ドロップで貼り付けたい場所にセットして下さい。



(3)指定された画像が貼付画面に表示されます。



- ⑤ セットした画像の上下に文字入力箇所がありますので、必要に応じて概要を入力して下さい。  
 ※入力 は 全角のみです。  
 また、実際のイメージとは異なる場合があります。



- ⑥ 必要な情報を全て入力後、「登録」ボタンをクリックして下さい。

画像が合成  
されます



- ⑦ 登録した画像枚数が1つの画像として合成・登録されます。なお、登録した結果は画面左下の「合成済のイメージ」に表示されます。
- ⑧ 合成作業が終了しましたら「戻る」ボタンをクリックして下さい。



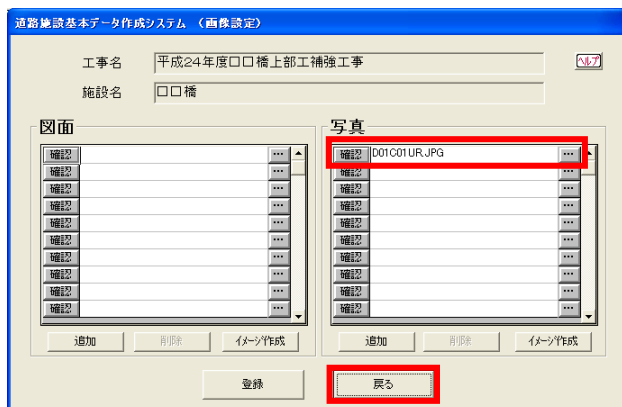
登録画像が  
表示されます

- ※ 「合成元の画像」および「合成済のイメージ」はダブルクリックすると画像が拡大表示されますので、内容の確認を行って下さい。



- ⑨ 全ての画像を作成するまで作業①～⑧を繰り返します。当該施設の全ての画像を登録したら、「戻る」ボタンをクリックして下さい。

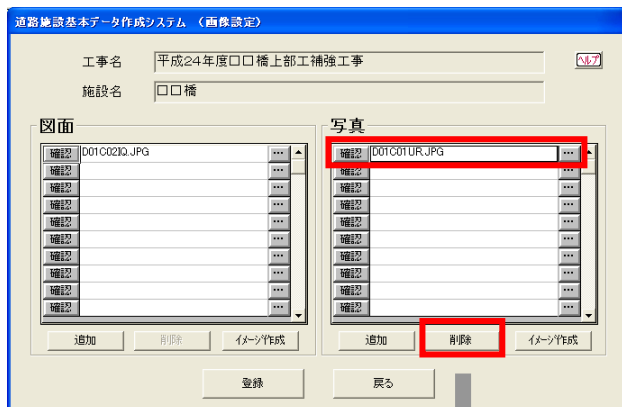
### 4-9-3 イメージ作成結果の表示・削除



①画像データ（図面、写真）の登録結果が、ファイル名で表示されます。問題なければ、「戻る」ボタンをクリックして下さい。

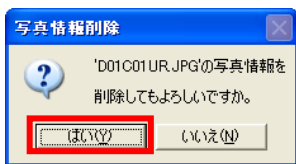
※当該施設の画像をこの画面でも登録・削除・確認する事ができます。方法は、以下に示す通りです。図面と写真は同じ作業となりますので、ここでは写真のケースで説明します。

### 本画面上で画像データを削除する場合

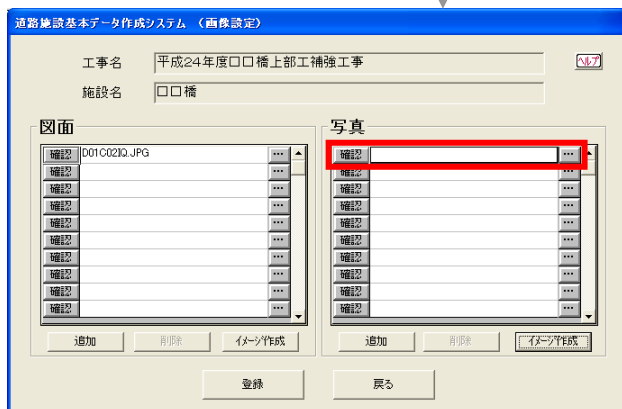


(1)削除する画像のファイル名を選択します。

(2)「削除」ボタンをクリックします。



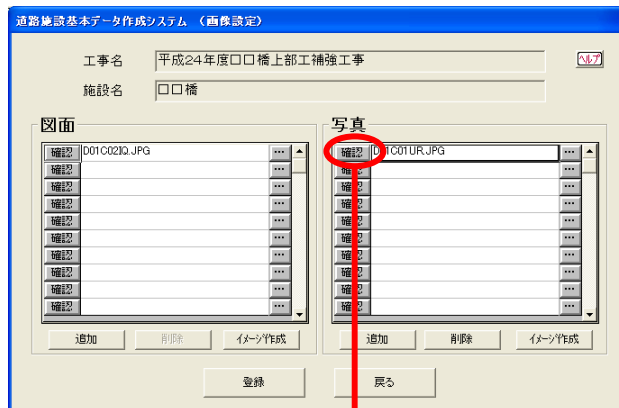
(3)確認後、「はい」ボタンをクリックします。



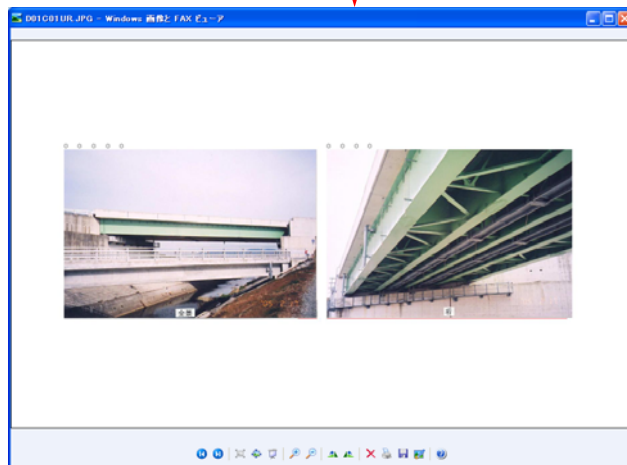
(4)画像データが削除されます。



本画面上で登録された画像データを確認する場合



(1)一覧表にある画像内容を確認する場合は、画像ファイル名欄の左側にある「確認」ボタンをクリックして下さい。




(2)当該ファイルの画像が拡大表示されます。

#### 4-10 道路施設基本データのプリンタ出力

本節では、前項で作成した道路施設基本データを所定の様式でファイル出力／プリンタ出力する際の操作方法について説明します。本作業では、システムに登録されている最終的な文字・数値データ、イメージデータを道路施設台帳形式で出力します。なお、プリンタ出力できる様式は次の通りです。

- ◆道路施設台帳
- ◆道路施設基本データ総括表
- ◆道路施設基本データ一覧表
- ◆道路施設基本データ詳細情報表


##### 4-10-1 道路施設台帳の出力



① 工事情報一覧表から、道路施設台帳を出力したい工事を選択(クリックし、左側チェックマークを表示)して下さい。  
・1件のみ選択します。

② 工事選択後、「道路台帳出力」をクリックして下さい。

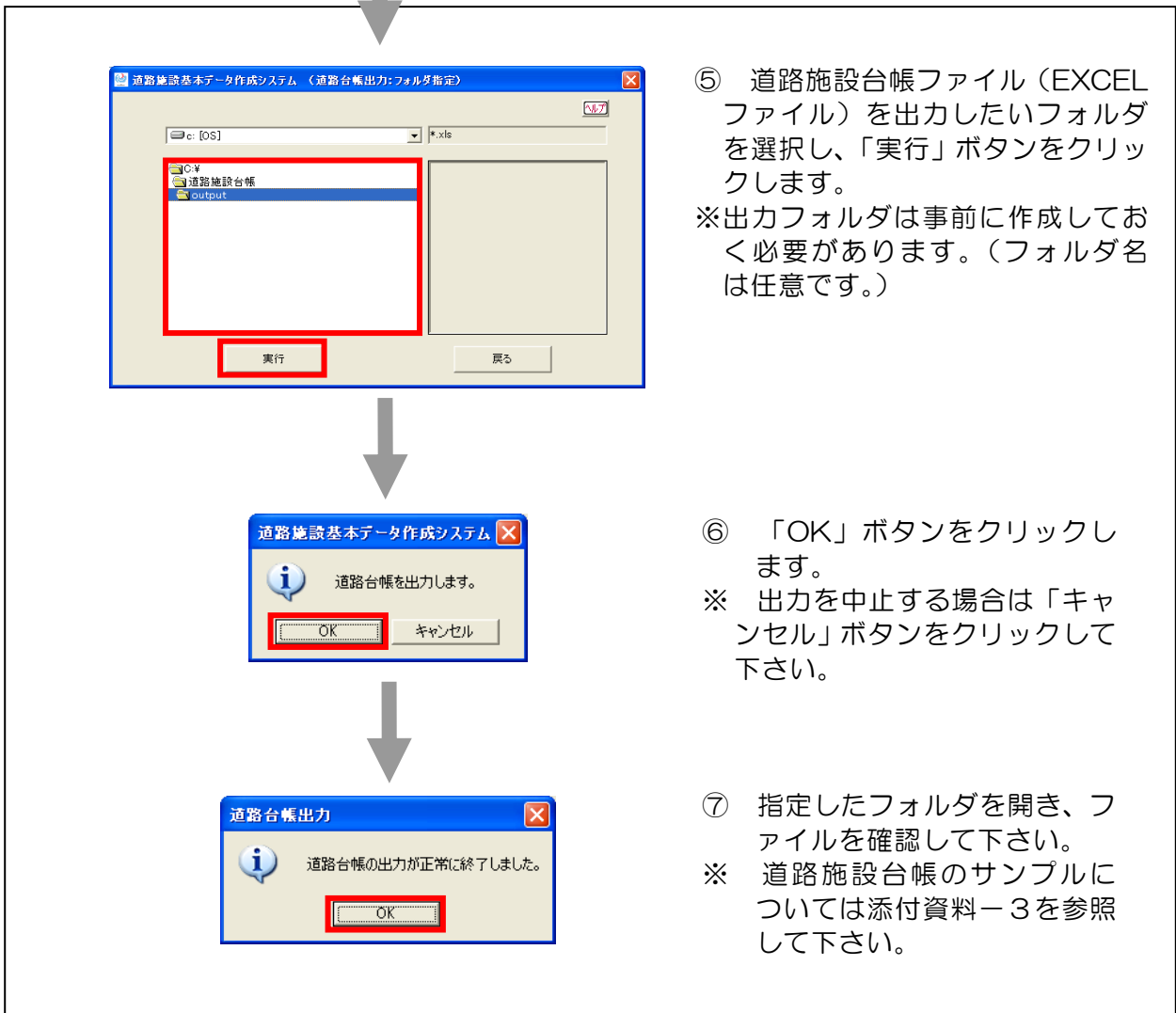
↓



③ 当該工事に登録されている施設一覧表が表示されますので、道路施設台帳を出力したい施設名を選択(クリック)します。  
※全ての施設を選択する場合には「全施設選択」ボタンをクリックして下さい。

④ 施設を選択後、「選択」ボタンをクリックします。  
※処理を取り消す場合は、「戻る」ボタンをクリックして下さい。

↓

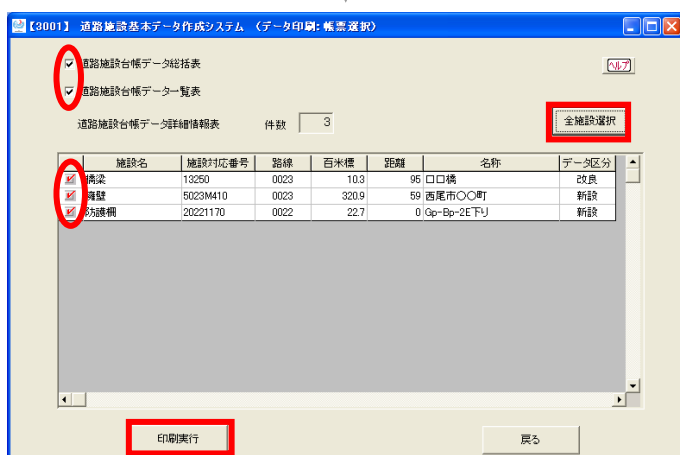


## 4-10-2 道路施設基本データの印刷



① 工事情報一覧表から、道路施設基本データを印刷したい工事を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。  
・複数の工事が選択できます。

② 施設選択後、「一括印刷」をクリックします。



③ 出力したい帳票形式を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。

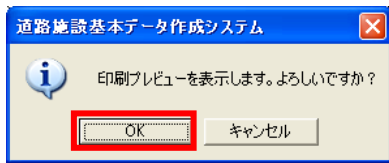
※「道路施設基本データ詳細情報表」については、出力したい施設を選択する必要があります。全ての施設を選択する場合は、「全施設選択」ボタンをクリックして下さい。

※前画面①で複数工事を選択した場合、施設一覧表は表示されません。施設一覧表を表示する場合は、前画面①で1工事だけ選択して下さい。

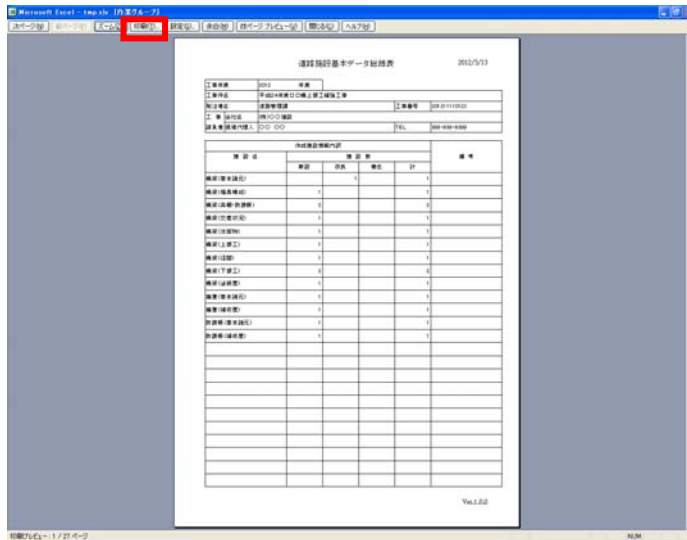
④ 選択後、「印刷実行」ボタンをクリックして下さい。

※処理を取り消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。

※各印刷帳票の出カイメージについては添付資料1を参照して下さい。

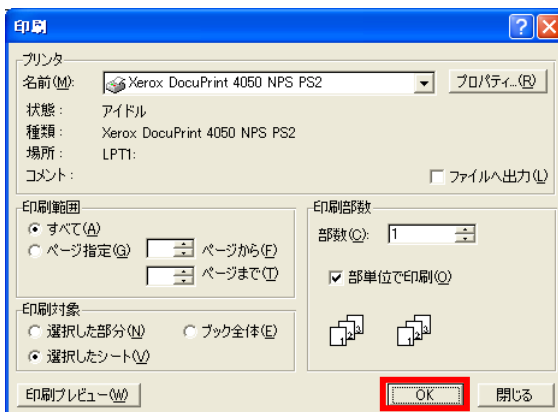


- ⑤ 印刷プレビューの確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックして下さい。
- ・印刷プレビューを取り消す場合は「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。



- ⑥ 印刷帳票の出カイメージが表示されます。印刷する場合は、「印刷」をクリックして下さい。

※ 本画面は、EXCELのプレビュー画面です。EXCELの機能により、前次頁、拡大縮小表示等ができます。



- ⑦ 出力先のプリンタの設定後、「OK」をクリックして下さい。

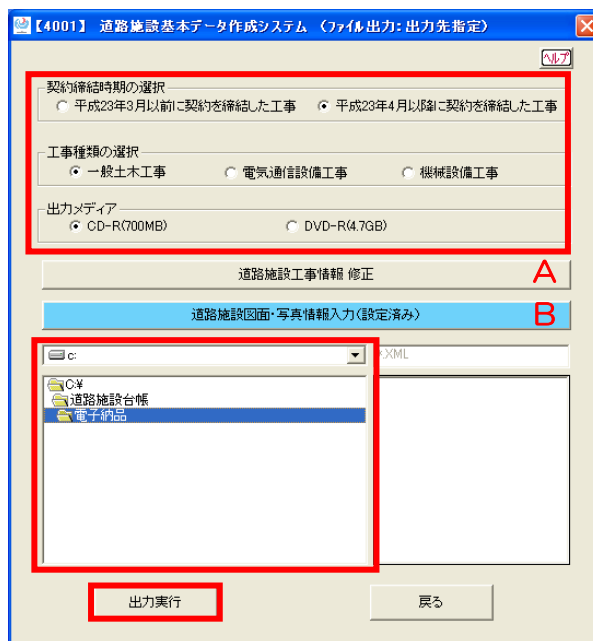
※出力帳票の出力サイズの初期値は、A4 縦です。

#### 4-11 電子納品用データ（道路施設基本データ）の出力

本節では、前項で作成した道路施設基本データの電子データを、電子納品用データとして出力する際の操作方法について説明します。



- ① 工事情報一覧表から、電子納品用データを出したい工事を選択（クリックし、左側にチェックマークを表示）して下さい。  
・ 1 件のみ選択します。
- ② 選択後、「電子納品データ出力」をクリックして下さい。



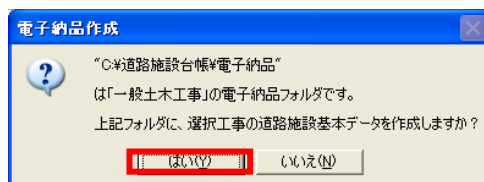
- ③ 契約締結時期、工事種類、出力メディアを指定して下さい。  
※ この画面からでも次の作業が行えます。  
A：工事情報の修正（「4-3-2 工事情報の修正」参照）  
B：図面写真入力（「4-9-1 イメージデータの作成画面の表示」参照）
- ④ 出力先のドライブ、フォルダを指定します。出力先は電子納品要領に準拠して作成された電子納品データが存在する場所を指定して下さい。

※出力先フォルダには、工事管理ファイル（工事請負業者が工事情報として作成するファイル）が存在する必要があります。工事管理ファイルは工事種類により次のように異なります。

- ・ 一般土木工事：INDEX\_C.XML
- ・ 電気通信設備工事：INDEX\_EC.XML
- ・ 機械設備工事：INDEX\_MC.XML

（「5. システム運用上の留意事項」参照）

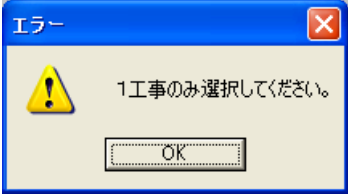
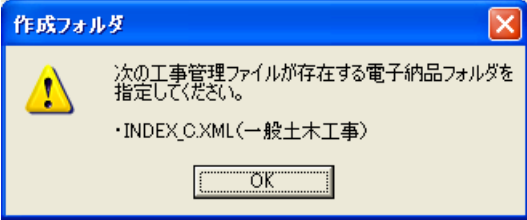
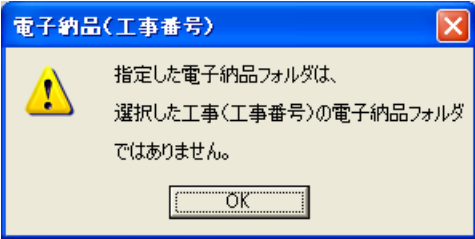
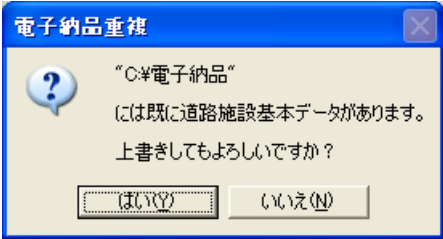
- ⑤ 指定後、「出力実行」をクリックします。  
※ 処理を取り消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。

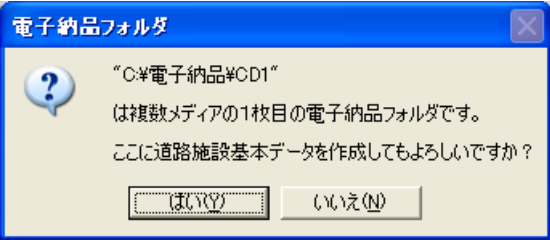
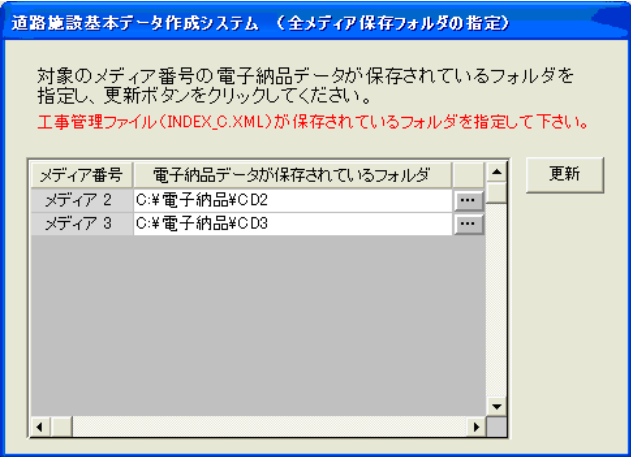
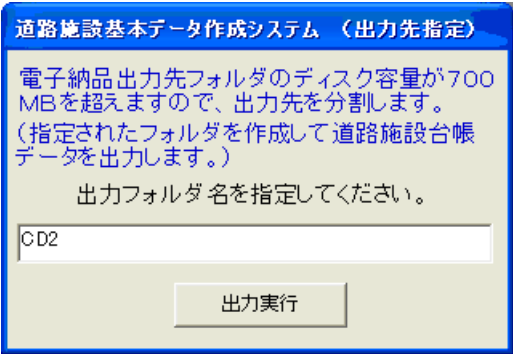


- ⑥ 出力先に間違いがなければ「はい」をクリックして下さい。  
※処理を取り消す場合は「いいえ」をクリックして下さい。


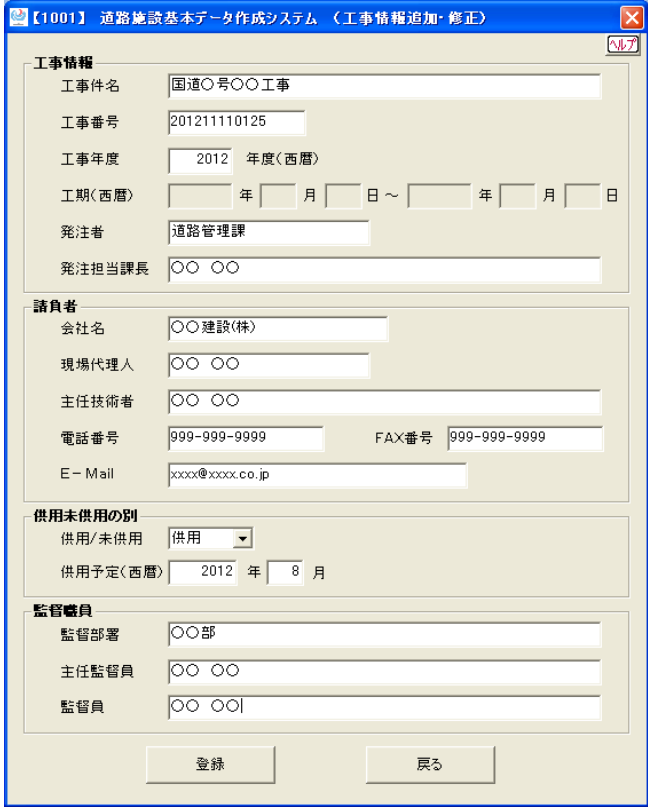
電子納品用データ出力時のメッセージ内容とその対応について

電子納品データ出力時には、下記メッセージが出力される可能性があります。この場合、以下に対応方法を参照して下さい。

メッセージ	対応方法
	<p>処理選択画面の工事一覧で複数工事を選択しています。 1工事のみを選択した状態にしてから次の作業に進んでください。</p>
	<p>選択したフォルダに工事管理ファイルが存在しません。 指定した工事種類に対応する工事管理ファイルが保存されているフォルダを確認し(ない場合は作成し)、再指定してください。</p> <p>※工事管理ファイルは工事種類により次のように異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般土木工事 : INDEX_C.XML</li> <li>・電気通信設備工事 : INDEX_EC.XML</li> <li>・機械設備工事 : INDEX_MC.XML</li> </ul>
	<p>指定フォルダに存在する工事管理ファイル内の「工事番号」と本システムに登録した工事情報「工事番号」が異なります。 工事番号を確認し、間違っている場合は修正したうえで、再指定してください。</p>
	<p>設定した出力先に道路施設基本データが存在する場合は表示されます。 よろしければ「はい」をクリックして下さい。 処理を取り消す場合は「いいえ」をクリックして下さい。</p>

メッセージ	対応方法											
 <p>電子納品フォルダ</p> <p>"C:\電子納品\CD1" は複数メディアの1枚目の電子納品フォルダです。 ここに道路施設基本データを作成してもよろしいですか？</p> <p><input type="button" value="はい(Y)"/> <input type="button" value="いいえ(N)"/></p>	<p>設定した出力先が複数メディアの1枚目であった場合（工事管理ファイルの〈メディア総枚数〉が2以上で、〈メディア番号〉が1の場合）に表示されます。</p> <p>よろしければ「はい」をクリックして下さい。</p> <p>処理を取り消す場合は「いいえ」をクリックして下さい。</p>											
 <p>道路施設基本データ作成システム (全メディア保存フォルダの指定)</p> <p>対象のメディア番号の電子納品データが保存されているフォルダを指定し、更新ボタンをクリックしてください。 工事管理ファイル(INDEX_C.XML)が保存されているフォルダを指定して下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>メディア番号</th> <th>電子納品データが保存されているフォルダ</th> <th></th> <th>更新</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メディア 2</td> <td>C:\電子納品\CD2</td> <td>...</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>メディア 3</td> <td>C:\電子納品\CD3</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>	メディア番号	電子納品データが保存されているフォルダ		更新	メディア 2	C:\電子納品\CD2	...		メディア 3	C:\電子納品\CD3	...	<p>上記の複数メディアへの出力確認で「はい」をクリックした場合に表示されます。</p> <p>対象のメディア番号の「…」をクリックし、電子納品データが保存されているフォルダを指定して下さい。</p> <p>フォルダ指定後「更新」ボタンをクリックして下さい。</p> <p>※工事管理ファイル（INDEX_C.XML 等）やその他管理ファイル（OTHR.XML）の記述内容は、メディアが異なっていても同一工事であれば、メディア番号以外は全て同じでなくてはいけません。ここでは、【4001】画面で指定したメディア以外のフォルダを全て指定し、その中の各管理ファイルにも道路施設基本データに関する記述を追記する処理を行っています。</p>
メディア番号	電子納品データが保存されているフォルダ		更新									
メディア 2	C:\電子納品\CD2	...										
メディア 3	C:\電子納品\CD3	...										
 <p>道路施設基本データ作成システム (出力先指定)</p> <p>電子納品出力先フォルダのディスク容量が700MBを超えますので、出力先を分割します。 (指定されたフォルダを作成して道路施設台帳データを出力します。)</p> <p>出力フォルダ名を指定してください。</p> <p>CD2</p> <p><input type="button" value="出力実行"/></p>	<p>指定した出力先フォルダへの出力ファイル総サイズが700MBを超える場合に表示されます。</p> <p>分割先のフォルダ名を入力して「出力実行」をクリックして下さい。</p> <p>※入力したフォルダが自動的に作成され、この中に道路施設基本データが出力されます。（電子納品の管理ファイル等は自動的に新しいフォルダに作成されます。）</p>											



メッセージ	対応方法
 	<p>工事情報追加・修正画面にて、入力情報が不足しています。</p> <p>① メッセージに表示されている項目について入力して下さい。  ※工事番号、工事年度、供用未供用の別（供用の場合は、供用年、月も入力）の項目を入力しないと登録できません。</p> <p>② 入力後、「登録」をクリックして下さい。</p> <p>※処理を取り消す場合は、「戻る」をクリックして下さい。（この場合、登録処理が終了していないので電子納品「出力実行」はクリックできません。）</p> <p>※供用年は、西暦（4桁）で入力して下さい。  （平成24年の場合、「2012」）</p>

## 5. システム運用上の留意事項

### 5-1 システム利用形態

本システムは、パソコン単独で動作する形式のシステムのため、ネットワーク等を用い複数作業員によるデータ作成作業には対応していません。

### 5-2 電子納品出力時の留意事項

本システムでは、一度電子納品出力を行うと、工事管理ファイル（工事請負業者が工事情報として作成するファイル）および、その他フォルダ管理ファイル（OTHR.XML）に道路施設基本データ出力情報が追記されます。

データ修正後に再度、電子納品出力を行うと、前回出力したデータに対して上書きを行います。このとき、手作業等により出力したデータの削除等行ってしまうと、前回出力したデータが見つからず、出力時のエラーとなります。

**データを修正後、再出力を行う場合は前回出力したデータの削除は行わないで実行して下さい。**

一度出力したデータの削除を行ってしまった場合、工事管理ファイルおよびその他フォルダ管理ファイルの以下に示す赤字の部分削除してから電子納品出力を行って下さい。

----- INDEX\_C.XML ファイルの削除箇所の抜粋 -----

```
<基礎情報>
  <メディア番号>1</メディア番号>
  <メディア総枚数>1</メディア総枚数>
  <適用要領基準>土木 201009-01</適用要領基準>
  <発注図フォルダ名>DRAWINGS</発注図フォルダ名>
  <特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGS/SPEC</特記仕様書オリジナル
  ファイルフォルダ名>
  <打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>
  <打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォ
  ルダ名>
  <施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
  <施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイル
  フォルダ名>
  <完成図フォルダ名>DRAWINGF</完成図フォルダ名>
  <写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
  <その他フォルダ名>OTHR</その他フォルダ名>
  <その他オリジナルフォルダ情報>
  <その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG999</その他オリジナル
  ファイルフォルダ名>
  <その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>道路施設基本データフォルダ</そ
  の他オリジナルファイルフォルダ日本語名>
  </その他オリジナルフォルダ情報>
</基礎情報>
```

-----

----- OTHRS.XML ファイルの削除箇所の抜粋 -----

<その他サブフォルダ名>ORG999</その他サブフォルダ名>  
<その他サブフォルダ日本語名>道路施設基本データフォルダ</その他サブフォルダ日本語名>  
<その他資料情報>  
    <資料名>道路施設基本データ管理ファイル</資料名>  
    <オリジナルファイル情報>  
        <シリアル番号>1</シリアル番号>  
        <オリジナルファイル名>ORG999.XML</オリジナルファイル名>  
        <オリジナルファイル日本語名>道路施設基本データ管理ファイル XML</オリジナルファイル日本語名>  
        <オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報>道路施設基本データ作成支援システム</オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報>  
        <オリジナルファイル内容>道路施設基本データ管理ファイルの XML</オリジナルファイル内容>  
    <予備></予備>  
    </オリジナルファイル情報>  
    <オリジナルファイル情報>  
        <シリアル番号>2</シリアル番号>  
        <オリジナルファイル名>ORG99901.DTD</オリジナルファイル名>  
        <オリジナルファイル日本語名>道路施設基本データ管理ファイル DTD</オリジナルファイル日本語名>  
        <オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報>道路施設基本データ作成支援システム</オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報>  
        <オリジナルファイル内容>道路施設基本データ管理ファイルの DTD</オリジナルファイル内容>  
    <予備></予備>  
    </オリジナルファイル情報>  
    <その他>  
        <請負者説明文></請負者説明文>  
        <発注者説明文>道路施設基本データを格納する。</発注者説明文>  
    </その他>  
</その他資料情報>

## 添付資料－1

### 道路施設基本データの出力帳票様式

- 道路施設基本データ総括表
- 道路施設基本データ一覧表
- 道路施設基本データ詳細情報表

## ○道路施設基本データ総括表

## 道路施設基本データ総括表

2012/3/13

工事年度	2012年度			
工事件名	平成24年度□□橋上部工補強工事			
発注者名	道路管理課	工事番号	201211110123	
工事会社名	(株)○○建設			
請負者現場代理人	○○ ○○	TEL.	999-999-9999	

施設名	作成施設情報内訳				備考
	施設数				
	新設	改良	撤去	計	
橋梁(基本諸元)		1		1	
橋梁(幅員構成)	1			1	
橋梁(高欄・防護柵)	2			2	
橋梁(交差状況)	1			1	
橋梁(添架物)	1			1	
橋梁(上部工)	1			1	
橋梁(径間)	1			1	
橋梁(下部工)	2			2	
橋梁(塗装歴)	1			1	
擁壁(基本諸元)	1			1	
擁壁(補修歴)	1			1	
防護柵(基本諸元)	1			1	
防護柵(補修歴)	1			1	

Ver.1.0.0

○道路施設基本データ一覧表

道路施設基本データ一覧表

2012/3/13

2012年度 工事名:平成24年度○○橋上部工補強工事 工事番号:201211110123

施設名	名称	データ区分			路線名	現旧区分	施工区間 (距離標または測点)	施設 対応番号
		新設	改良	撤去				
橋梁(基本諸元)	○○橋		○		23	現道	10.3kp+95m	13250
橋梁(幅員構成)		○			23	現道		13250
橋梁(高欄・防護柵)		○			23	現道		13250
橋梁(高欄・防護柵)		○			23	現道		13250
橋梁(交差状況)		○			23	現道		13250
橋梁(添架物)		○			23	現道		13250
橋梁(上部工)		○			23	現道		13250
橋梁(径間)		○			23	現道		13250
橋梁(下部工)		○			23	現道		13250
橋梁(下部工)		○			23	現道		13250
橋梁(図面類)					23	現道		13250
橋梁(図面類)					23	現道		13250
橋梁(塗装歴)		○			23	現道		13250
擁壁(基本諸元)	西尾市○○町	○			23	現道	320.9kp+59m	5023M410
擁壁(補修歴)		○			23	現道		5023M410
防護柵(基本諸元)	Gp-Bp-2E下り	○			22	現道	22.7kp+00m	20221170
防護柵(補修歴)		○			22	現道	22.9kp+26m	20221170

Ver.1.0.0

○道路施設基本データ詳細情報表

橋梁(基本諸元)詳細表

2012/3/13

2012年度

工事名:平成24年度□□橋上部工補強工事

工事番号:201211110123

NO	項目名	入力欄	単位
1	工事番号	201211110123	
2	データ区分	2 改良	
3	施設対応番号	13250	
4	路線番号	0023	
5	現旧区分	1 現道	
6	橋梁コード		
7	分割区分	0 上下線一体	
8	調製年月日	20050413	西暦
9	改訂年月日	20070331	西暦
10	施設改修年度		西暦
11	名称	□□橋	
12	橋梁種別	1 橋	
13	橋梁区分	1 本線橋	
14	架設竣工年	2003	西暦
15	等級	* *	
16	適用示方書	165 平成8年 道路橋示方書	
17	総径間数	1	
18	歩道添架	出力するデータ項目は施設(工種)によって異なる。	
19	事業区分	1 一般道路	
20	路線名称	国道23号	
21	百米標又は測点(自)	10.3	km
22	百米標又は測点(自)からの距離	95	m
23	百米標又は測点(至)	10.4	km
24	百米標又は測点(至)からの距離	35	m
25	橋長	40.00	m
26	橋面積	420.0	m <sup>2</sup>
27	平面形状	2 斜橋	
28	最小半径	*	m
29	縦断勾配	0.500	%
30	落下物防止柵高さ	*	m
31	落下物防止柵延長	*	m
32	遮音壁有無	0 無し	
33	遮光壁有無	0 無し	
34	踏掛版有無	1 有り	
35	点検施設	1 検査路のみ	
36	排水施設	1 たれ流し型式	
37	床版防水種別	1 塗膜系	

※ データが変更された場合、項目名の横に「\*」が表示されます。

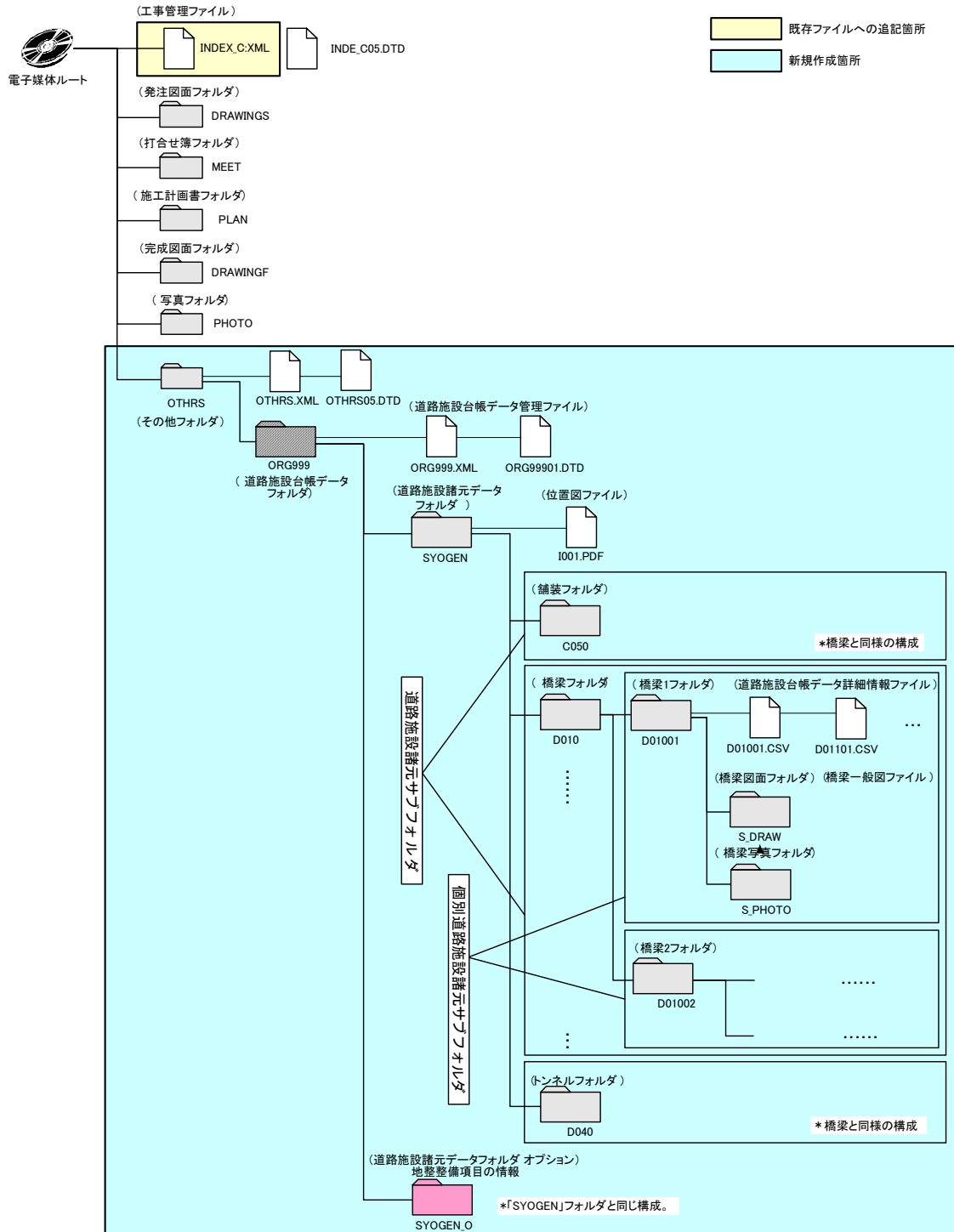
## 添付資料－２

### 電子納品用出力データのフォルダ構成



# 道路施設基本データ電子納品データフォルダ構成

道路施設基本データ電子納品データのフォルダ構成は、以下に示すとおりです。



# 道路施設基本データ電子納品データフォルダ構成

添付資料－3  
道路施設台帳サンプル

○道路施設台帳サンプル（舗装）

C050 舗装.XLS ファイルの C050\_1 シート

舗装台帳		〈共通説明事項1〉		業者名及び責任者:		TEL:		
名称	〈共通説明事項2〉: 記入不要	路線名	〈共通説明事項4〉: 一般国道302号	現場	1	整理番号1		
所在地(自)	〈共通説明事項3〉: 23344	距離横(自)	〈共通説明事項5〉: 5.9 + 0	調整年月日		〈共通説明事項6〉:	20010228	
(至)	23345	(至)	6.2 + 0	改訂年月日		〈共通説明事項7〉:	*	
【基本諸元】 データ区分: 新設 1								
上り・下り区分	舗装区分	舗装種別	最大舗装幅員(m)	最小舗装幅員(m)	舗装延長(m)			
下り線	11	アスファルト舗装 1	9.6	7.5	260.0			
舗装面積(m <sup>2</sup> )	平均経年数	完成年月						
2249	*	200102						
車道				側溝				
幅員	7.0 m	幅員	*					
延長	260.0 m	延長	*					
面積	2088 m <sup>2</sup>	面積	*					
表層工種1	排水性アスファルト	71	表層厚1	5 cm	表層工種1	*	表層厚1	*
表層工種2	*	*	表層厚2	*	表層工種2	*	表層厚2	*
中間層工種1	樹脂入りアスファルト	52	中間層厚1	5 cm	中間層工種1	*	中間層厚1	*
中間層工種2	*	*	中間層厚2	*	中間層工種2	*	中間層厚2	*
基層工種1	再生粗粒成アスコン20	82	基層厚1	5 cm	基層工種1	*	基層厚1	*
基層工種2	*	*	基層厚2	*	基層工種2	*	基層厚2	*
上層路盤工種1	壓青安定処理	31	上層路盤厚1	10 cm	上層路盤工種1	*	上層路盤厚1	*
上層路盤工種2	粒状調整砕石	34	上層路盤厚2	10 cm	上層路盤工種2	*	上層路盤厚2	*
下層路盤工種1	再生クラッシュラン	38	下層路盤厚1	15 cm	下層路盤工種1	*	下層路盤厚1	*
下層路盤工種2	*	*	下層路盤厚2	*	下層路盤工種2	*	下層路盤厚2	*
路肩				歩道				
幅員	1.0 m	幅員	*					
延長	260.0 m	延長	*					
面積	260 m <sup>2</sup>	面積	*					
表層工種1	排水性アスファルト	71	表層厚1	5 cm	表層工種1	*	表層厚1	*
表層工種2	*	*	表層厚2	*	表層工種2	*	表層厚2	*
中間層工種1	樹脂入りアスファルト	52	中間層厚1	5 cm	中間層工種1	*	中間層厚1	*
中間層工種2	*	*	中間層厚2	*	中間層工種2	*	中間層厚2	*
基層工種1	再生粗粒成アスコン20	82	基層厚1	5 cm	基層工種1	*	基層厚1	*
基層工種2	*	*	基層厚2	*	基層工種2	*	基層厚2	*
上層路盤工種1	壓青安定処理	31	上層路盤厚1	31 cm	上層路盤工種1	*	上層路盤厚1	*
上層路盤工種2	粒状調整砕石	34	上層路盤厚2	34 cm	上層路盤工種2	*	上層路盤厚2	*
下層路盤工種1	再生クラッシュラン	38	下層路盤厚1	38 cm	下層路盤工種1	*	下層路盤厚1	*
下層路盤工種2	*	*	下層路盤厚2	*	下層路盤工種2	*	下層路盤厚2	*
備考	〈共通説明事項8〉: *							

C050 舗装.XLS ファイルの C050\_2 シート

舗装台帳

舗装台帳

【舗装構成図】

- 表層 (排水性舗装TOP13) t=50
- 表層 (改質アスファルト7mm/TP20) t=50
- 表層 (再生粗粒成アスコンTOP20) t=50
- 上層路盤 (圧青安定処理TOP40) t=100
- 上層路盤 (調整砕石H-30) t=100
- 下層路盤 (RC-40-Q) t=150
- 路床安定処理 (セメント系 粒状調整) t=800
- 0.2% 横勾りCBR=12%

舗装台帳

【現況写真】